Japan Dairy Council No.537

中酪情報

2012 1

Special Report

第8回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト開催

Topics-1

第318回 中酪理事会の概要

社団法人中央酪農会議

中酪情報　No.537　2012.1

CONTENTS

01　年頭所感
萬歳会長挨拶

02　RELAY COLUMN
生源寺　眞一
統計情報の価値

04　SPECIAL REPORT
第８回 ALL JAPAN
ナチュラルチーズコンテスト開催

06　TOPICS-1
第318回 中酪理事会の概要

07　TOPICS-2
平成24年度酪農経営安定対策の概要

08　TOPICS-3
世界の酪農乳業情勢

10　INFORMATION
第38回酪農海外現地実務研修会

12　SCHEDULE CALENDAR
指定団体・中酪の月間スケジュール

14　DAIRY INFORMATION
用途別販売実績/牛乳乳製品統計など

30　**編集後記**

新年のご挨拶

社団法人中央酪農会議　会長　萬　歳　　章

新年明けましておめでとうございます。
新年を迎えるにあたり、最近の酪農を巡る動向を踏まえ、所信の一端を述べさせていただきます。

わが国酪農は、異常気象とも云うべき２カ年にわたる猛暑の影響が続くなか、昨年３月の東日本大震災の甚大な被害を受け、生乳生産の回復が予想を超え遅れております。本会議では、被災地の一日も早い復旧・復興を願い、被災された酪農家への支援対策に会員とともに取り組んでまいりました。また昨年は、政府によるＴＰＰ交渉参加の検討が拙速に取り進められたことから、本会議におきましても、これを阻止するため、関係団体と連携した反対活動に参加し、酪農家の反対意見を表明するとともに消費者の方々に酪農への理解醸成等の活動を行いました。

東日本大震災への支援につきましては、広く呼びかけを行い、一般消費者、酪農家及び酪農関係団体の皆様のご理解と協力を得て、総額で五億円を超える支援対策を講じることができました。ご協力を賜りました皆様には改めまして感謝を申し上げる次第です。大震災の発生後９カ月を経過しましたが、依然として復旧･復興が進まないなか、福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散による悪影響と風評被害から、酪農経営は今も深刻な影響を受けております。地域によっては、飼料の給与制限や放射性物質を含んだ堆肥の処理等、生産現場での課題が山積した状態が続いております。生産者や指定生乳生産者団体及び関係者の尽力により、生産された生乳につきましては、乳牛への飼料給与等の適正な対応とともに、定期的なモニタリング検査を経ることにより、安全性の確保がなされております。これら生産者及び関係者の不断の努力が、できるだけ早期に実を結びますよう、本会議におきましても会員と連携して消費者の理解醸成などの取組を続けて参りたいと考えております。

一方、わが国を取り巻く経済環境は、為替相場がかつて無い円高水準を維持し、欧州での信用不安や、海外製造拠点での自然災害の発生などから、依然として景気回復の見込が立っておりません。加えて、雇用回復の兆しもなく個人消費はなお低迷し、社会を取り巻く閉塞感から先行きへの不安が広がっております。さらに、政府によるＴＰＰ交渉参加に向けた協議入りもあり、酪農を取り巻く社会環境は大きく変転しております。

本会議では、こうした社会経済情勢等の変化に的確かつ柔軟に対応しながら、わが国酪農の目指すべき将来像を実現するため、現在、平成24年度の生乳需給調整対策の策定を進めております。現状の酪農生産基盤に配慮し、生産現場に活力を取り戻すとともに、中長期的に酪農家の皆様が安定的な営農計画のもと、多様な経営展開を目指せるよう、今後、３年間は前年度実績以上の生乳生産が可能となる対策を基本方針に据えることと致しました。酪農家の皆様におかれましては、次年度の需要期を見据えた経営計画の策定と着実な生乳生産に取り組んで頂きたいと願っております。

また、牛乳乳製品の需要喚起対策についてですが、少子高齢化や食生活の成熟化の中で、特に飲用牛乳消費の減退に歯止めがかからない状況が続いております。生鮮食料品輸送技術の発達や小売り形態の変化などが、消費者の購買意識の変化を促しているとの分析もあり、牛乳についても、家庭での常備率が低下している状況にあります。こうした社会的背景を踏まえつつ、会員の意見を踏まえながら、より消費者に「伝わる」方法により、牛乳消費喚起対策に努めて参ります。さらに、酪農の多面的機能を活用し、酪農家と消費者との揺るぎない信頼関係を作るため、家畜衛生を十分に踏まえた体験活動の実施は、広い社会的な運動として根付かせていくことも重要と考えております。

以上、主要な課題等について述べて参りましたが、本会議と致しましても酪農家の皆様が将来とも安心して酪農経営に従事して頂けるよう、必要な対策に積極的に取り組んで参る所存であります。本年も酪農家及び酪農関係者の皆様方のご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

RELAY COLUMN

リレーコラム

統計情報の価値

農村の実態調査と農業統計の吟味。研究の素材の大半はこのふたつのルートから得られる。これが農業経済学の特色だと思う。私自身、多くの農村を訪ねた経験があり、それが縁でいまもつながりのある農家が何人もいる。数字がびっしりの統計書に向き合って悪戦苦闘した思い出も少なくない。近年は電子的な媒体によって入手できる統計情報も少なくないが、かつては統計書からの転記作業が仕事のスタートだった。私の所属した研究室では、統計転記のための用紙を特注で確保していた。

調査で農家を訪ねる目的は、何よりも数字だけでは知ることができない情報を得るためである。なかでも農家がどのように考え、行動しているかを聞くことが大切である。そのことで統計数字の意味するところが明らかになる場合もある。もっとも、農家調査から得られる情報はあくまでも点としての情報である。安易な一般化は禁物である。やはり全体像に関する情報とセットで実態に接近する必要がある。

振り返ってみて、統計の数値そのものから人の目を引くような新事実の発見が行われるのは希ではないかと思う。たしかに全体像を確認するうえで必須ではあるものの、統計情報そのもので新奇性のある報告が生まれることはそれほどない。これが統計書を前に 40 年近く仕事を続けてきた一研究者としての実感である。そんな私にも、新鮮な情報だと感じた経験がないわけではない。ほかならぬ酪農についてである。

初回の酪農全国基礎調査が中央酪農会議によって行われたのは平成 3 年。私も調査の設計や結果の分析のお手伝いをさせていただいた。酪農全国基礎調査は通常の意味での統計調査とは異なる。けれども、国内のすべての酪農経営を対象として実施されたこと、そして 81％の高い回収率であったことから、日本の酪農経営の全体像に関する貴重な情報として幅広く活用された。初めての調査であったことに加えて、従来からの統計では把握できない情報の確保に主眼を置いたため、得られた大半のデータが新鮮な情報と言ってよいほどであった。

ひとつだけ具体例をあげておく。糞尿に起因する問題の発生の有無について、問題の具体的な中身と合わせて尋ねる項目があった。北海道で 37％、都府県で 45％の酪農経営が何らかの問題が発生していると回答した。新鮮と言うよりも、半ば驚きの結果である。当時は都市周辺の畜舎について臭気やハエの発生が問題視されることが多く、ある程度の回答率になるとの予想はあった。実際には、都府県で半数近くが、北海道でも 3 分の 1 以上が問題ありと回答したわけである。正直な酪農家との印象を強くするとともに、背景にある深い悩みを垣間見る思いであった。

北海道の中山間地域、つまり道東や道北の酪農地帯では、16％の酪農家が水質汚染の問題が発生と回答している。この結果も強い印象を残した。事例的に指摘されてはいたが、糞尿や堆肥の河川や海域への流入が相当に広がりを持つ現象であることを、酪農全国基礎調査が初めて明らかにしたと言ってよい。全体像を把握する統計的な情報ならではの発見である。念のため申し添えておくならば、これは 20 年前の実態である。現在同じ調査を行うとすれば、回答率は激減しているはずである。平成 11 年に施行された家畜排せつ物法のもとで糞尿処理の適正化が図られているからである。

統計情報そのものは平凡である場合でも、少し切り口を変えて眺めてみることで農業に対する認識が新たになる場合もある。こんなかたちで統計と農業のつながりを提示することも、

生源寺　眞一（しょうげんじ　しんいち）
名古屋大学大学院生命農学研究科教授。
中央酪農会議理事。
１９５１年愛知県生まれ。
東京大学農学部農業経済学科卒。
主な著書に『現代日本の農政改革』（東大出版会）、『改革時代の農業政策』（農林統計出版）、『日本農業の真実』（ちくま新書）など。

RELAY COLUMN

農業経済学の仕事のひとつではないかと思う。学術論文にはならない。むしろ、日頃の研究活動のいわば副産物として、社会に情報を提供するといったところだろうか。副産物などと表現したが、小難しい理屈をこねた論文よりも、単純でも目から鱗の情報のほうが多くの人々にはずっと有益かもしれない。

例えば酪農経営の規模を評価する切り口を考えてみよう。酪農の規模そのものは、搾乳牛の頭数で表すのがいちばんポピュラーな方法であろう。酪農の関係者のあいだでは、日本全体の平均で 40 頭程度にまで拡大したことが広く知られている。すでにヨーロッパクラスを凌駕する規模だという評価もある。これはヨーロッパの統計と日本の統計の比較という切り口によって得られた認識にほかならない。では、国内で酪農以外の農業と比較してみたらどうだろうか。同じ比較であれば、何よりも日本農業の代表である稲作と比べることが人々の関心を引くはずだ。

ふたつの方法がある。ひとつは所得を物差しにする比較であり、もうひとつは労働時間を物差しにする比較である。手元にある統計書は「畜産物生産費」と「米及び小麦の生産費」の平成 20 年版。まずはそれぞれの所得は、酪農が搾乳牛 1 頭当たりで 12 万 7 千円、稲作が 10 アール当たり 2 万 9 千円である。ということは、所得を生むパワーを基準として、搾乳牛 1 頭は稲作の 44 アールに相当するわけである（12 万 7 千円÷ 2 万 9 千円）。つまり搾乳牛で平均 40 頭規模の日本酪農は、稲作では 17.6 ヘクタールの規模に相当することがわかる。

実は、労働時間つまり農業経営に投入される労働の量を尺度にした場合にも、ほぼ同じ結果が得られる。1 頭当たり労働時間 110 時間を 10 アール当たり労働時間 27 時間で割ると 4.1。40 頭ならば 16.4 ヘクタールというわけである。こうして得られた 17 ヘクタール前後の規模の稲作は、間違いなく日本のトップクラスの経営である。水田の 4 割程度で生産調整が行われている点を加味するならば、水田作経営の面積としては 30 ヘクタール弱である。逆に日本の平均規模の 1 ヘクタールの稲作は、搾乳牛で 2 頭の酪農という計算になる。とても経営として維持できる規模ではない。

酪農の平均は稲作のトップクラスである。この事実はもっと多くの人に知っていただく必要がある。日本の農業を一律に論じることはできないのである。もっと言うならば、一律に論じることは危険ですらある。水田農業からの横並び感覚で酪農政策を論じられてはたまらない。こうした認識を深めるためにも、統計データに隠された情報の発掘には、また、そのためのちょっとしたアイデアには意味があると思う。

SPECIAL REPORT

第８回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト開催

本会議は11月24日～25日、東京のホテルメトロポリタンエドモントで第８回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテストを開催した。今回は過去最多の64工房から147作品の出展があり、北海道の（株）花畑牧場が出展した「ラクレット」（ハード６カ月未満部門）が農林水産大臣賞を受賞した。

コンテストの目的と審査内容

ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテストは、国産ナチュラルチーズの製造技術の向上と消費の拡大を目的に、平成９年より隔年で実施されている。「開催主旨」のなかに記載されているように、本年度の開催目的は以下の通りである。

①我が国酪農業の国際化進展への対応を図りつつ、その健全な発展を図っていくために、輸入品との競争力を有するチーズに仕向けられる国産生乳の需要を拡大していく。

②国産ナチュラルチーズの消費拡大、及びナチュラルチーズ向け生乳の需要拡大を図るため、国産ナチュラルチーズの味、種類、特性、利用方法等の知識を普及させる。

③ナチュラルチーズ生産者間の意見交換、及び専門家によるアドバイス等を行うことにより、国産ナチュラルチーズの製造技術の向上を図る。

④ナチュラルチーズのユーザーに国産ナチュラルチーズを紹介し、販路拡大につなげる。

⑤ナチュラルチーズの製造技術の向上にあわせ、日本人の嗜好に合ったナチュラルチーズの製造や、日本の気候風土に合った独自のナチュラルチーズ文化を創造し、今後の生乳需要の拡大を図る。

出品されたナチュラルチーズは、開催要領に基づきリコッタ部門（原料にホエイを使用）、フレッシュ部門、ウォッシュ部門（表面に細菌を植え、その土地のワインなどで洗いながら熟成）、シェーブル部門（原料乳に山羊乳を使用）、白カビ部門、青カビ部門、ハードタイプパスタフィラータ部門（チーズカードを熱湯で練って、繊維状の弾力のある組織化）、ハード熟成３カ月未満部門、ハード熟成６カ月未満部門、ハード熟成６カ月以上部門、その他部門（フレーバー・スパイス等添加）の11部門に分類される。出品数は各部門につき１作品で、１出品者が最多で３部門まで出品でき、過去に受賞したことのある作品を出品することもできることになっている。

審査会では、製造施設が所在する地域の気候や原料の品質に合わせた工程で製造されたナチュラルチーズを、外観･色調、組織、風味について項目別に採点し、それぞれの得点の合計点で順位が付けられる。なお、審査段階では、出品者が特定できないように配慮されている。本年度のコンテストには、審査委員長の村山重信氏（ＮＰＯ法人チーズプロフェッショナル協会長）のほかに、ナチュラルチーズの専門家やチーズに造詣の深い著名人（学術、料理、販売、コンサルタント等）の中から、一次審査に２名、二次審査と最終審査に５名、最終審査での上位４賞選定に１０名の審査員が招聘された（表　参照）。

コンテスト初日の一次審査では、全出品作品147点から二次審査へ出品する74作品が選抜され、二次審査では優秀賞20点が選出され、その中から10点が金賞に選出された。公開で開催された二日目の最終審査では、金賞に選出された10作品の中から上位４作品が選出され、農林水産大臣賞、農畜産業振興機構理事長賞、中央酪農会議会長賞、審査員特別賞がそれぞれ決定した。

花畑牧場の「ラクレット」に農林水産大臣賞

表彰式に先立ち本会議の門谷廣茂専務は、「わが国のナチュラルチーズの消費量は着実に伸びているが、食文化に定着したとは言えない状況にある。この催しを通じて、多くの方々に国産ナチュラルチーズの素晴らしさを知ってもらい、生産者と消費者の相互交流を促進したい。チーズ生産で国産生乳の需要が拡大し、わが国酪農が持続的に発展することを祈念している」と、主催者を代表して挨拶した。

続いて、来賓を代表して農林水産省の荒川隆畜産部長は、「わが国のチーズ消費量は増加傾向にあるが、2010年度の自給率はいまだ19％と低い。農林水産省

は、チーズ仕向け生乳の拡大支援や６次産業化対策を通じて、国産ナチュラルチーズの食生活への定着を図っていく」と、仲野博子農林水産大臣政務官の祝辞を代読した。

審査委員長を務めた村山重信ＮＰＯ法人チーズプロフェッショナル協会会長は、「セミハード、ハードともに熟成水準が良くなっている。ウォッシュも仕上がりがきれいになった。シェーブルは色、形、味すべての点で素晴らしい。あとは、いかに食べてもらうかだ」と、受賞作品について審査講評を述べた。各賞を受賞した作品は表の通りであった。

第一席の農林水産大臣賞を受賞したのは、株式会社花畑牧場（北海道）の作品名「ラクレット」（ハード６カ月未満部門）で、品質を保持するうえで重要なリンド（表皮）がしっかり形成されており、熟成水準が高く風味・香りも素晴らしい点がとくに高く評価された。

第二席の農畜産業振興機構理事長賞は、株式会社鶴居村振興公社酪楽館（北海道）の「鶴居シルバーラベル」（ハード３カ月未満部門）で、熟成水準が高く風味バランスが良く、適度な硬さで旨味も十分な点が高く評価された。

第三席の中央酪農会議会長賞は、有限会社 ダイワファーム（宮崎県）の「ロビオーラダイワ」（ウォッシュ部門）で、ウォッシュ特有の風味が適度でマイルドな旨味があり、色合いも美しい点が高く評価された。

第四席の審査員特別賞は、三良坂フロマージュ（広島県）の「柿」（シェーブル部門）で、全体的に完成度が高く、柿をイメージした外観のアイデアが斬新である点が高く評価された。

国産ナチュラルチーズフェア

表彰式会場に隣接する特設会場では、コンテストと併行して、チーズ生産者と一般消費者の交流を目的とする国産ナチュラルチーズフェアが開催された。同フェアは国産ナチュラルチーズを展示、試食するイベント「集まれ！メイド・イン・ジャパンのチーズとワイン」として開催され、チーズの販売コーナーも併設された。会場では全国10企業が出展した国産ワインを片手に、出展者の説明を聞きながら多彩な国産ナチュラルチーズを楽しむ消費者の姿も数多くみられた。

第８回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト審査員

（敬称略）

審査委員長	
村山　重信	ＮＰＯ法人チーズプロフェッショナル協会 会長
一次審査員（二次審査出品作品選定）	
藤田　眞弘	ＮＰＯ法人チーズプロフェッショナル協会 専務理事
井越　敬司	東海大学　農学部　バイオサイエンス学科 教授
二次審査・最終審査員（優秀賞・金賞・上位４賞選定）	
田中　穂積	雪印メグミルク株式会社　チーズ研究所 所長
阿久澤良造	日本獣医生命科学大学 応用生命科学部長
藤野　成爾	ＮＰＯ法人チーズプロフェッショナル協会 理事
森　克明	クリニカ・ガストロノミカ・エスペリア 代表取締役
宮川　幸久	株式会社いちやまマート バイヤー
最終審査員（上位４賞選定）	
中村　勝宏	ホテルメトロポリタンエドモント 名誉総料理長
服部　幸應	学校法人服部学院　服部栄養専門学校 理事長・校長
齋藤　忠夫	東北大学大学院　農学研究科 教授
鈴木　利康	飛鳥出版株式会社 代表取締役社長
飯坂　直樹	株式会社成城石井営業本部商品部 部長代理

第８回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト受賞作品

表彰	受賞者	都道府県	部門	受賞作品
農林水産大臣賞	(株)花畑牧場	北海道	ハード６カ月未満	ラクレット
農畜産業振興機構理事長賞	(株)鶴居村振興公社酪楽館	北海道	ハード３カ月未満	鶴居シルバーラベル
中央酪農会議会長賞	(有)ダイワファーム	宮崎県	ウオッシュ	ロビオーラダイワ
審査員特別賞	三良坂フロマージュ	広島県	シェーブル	柿
金　賞	(有)ランランファーム	北海道	シェーブル	ペケレ
	黒松内町特産手作り加工センタートワ・ヴェール	北海道	青カビ	ブルーチーズ
	(有)NEEDS	北海道	ハード６カ月未満	NEEDSゴーダ
	(有)ハッピネスデーリィ	北海道	ハード６カ月以上	森のカムイ
	(株)鶴居村振興公社酪楽館	北海道	ハード６カ月以上	鶴居ゴールドラベル
	(農)共働学舎新得農場	北海道	その他	さくらのアフィネ
優秀賞	(株)十勝野フロマージュ	北海道	フレッシュ	クリームチーズ
	(有)メニーフィールドデイリーファーム ミルキーハウス	北海道	フレッシュ	さけるチーズ塩
	(株)佐渡乳業ミルク工房	新潟県	フレッシュ	佐渡クリームチーズ
	風の谷ファーム白馬	長野県	シェーブル	フレッシュヤギのチーズ
	らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場	熊本県	ハードタイプパスタ	ミルク牧場のカチョカヴァロ
	(株)花畑牧場	北海道	白カビ	カマンベール「雪どけ」
	(株)たかすファーマーズ	岐阜県	白カビ	カマンベールチーズ ヒルガニアンホワイト
	(有)ダイワファーム	宮崎県	ハード３カ月未満	トーマダイワ
	(株)鶴居村振興公社酪楽館	北海道	ハード６カ月未満	リーレ・ツルイ
	ノースプレインファーム(株)	北海道	ハード６カ月以上	ゴーダチーズ

TOPICS 1

トピックス…①

第318回

中酪理事会の概要

本会議は平成23年12月14日開催の第318回理事会において、平成24年度以降の生乳計画生産対策の基本的な考え方等について協議し、今後3年間にわたり減産しない方針を決定した。

大幅な増産が見込めない状況が継続

平成23年度の生乳生産量は、東日本大震災や2年連続の猛暑の影響等により予想以上に回復が遅れ、9月以降は回復傾向に向かいつつあるものの、前年度実績をわずかに上回る水準に止まる見込みである。また、震災並びに福島原子力発電所事故からの復旧・復興が進まないなか、地域によっては、今後とも厳しい条件の下での酪農経営を余儀なくされることが想定される。

さらに政府においては、ＴＰＰ交渉への参加に向けた協議が開始されており、今後、わが国酪農もいっそう厳しい国際競争に巻き込まれる可能性が高まっている。こうした将来への不安は、酪農家の経営意欲を減退させる重大な要因の一つとなっている。

以上のような状況から、平成24年度の生乳生産量は、大幅な増産が見込めるような経営環境ではない。

不確定要素が多い生乳の需要見通し

23年度の牛乳等向け生乳需要量は当初、大震災や原発事故の影響で大きく減少することが懸念されたものの、上期は見通しを上回って推移した。しかし、生乳需給のひっ迫、消費者の節約志向等を背景とする乳飲料消費の拡大や生乳使用率の低下などにより、23年度下期から24年度にかけての牛乳等向け生乳需要量は、従来水準の減少傾向に戻ると見込まれる。

また、乳製品向け生乳需要量は、バターと脱脂粉乳のタイトな需給状況のもとで供給制限が行われ、需要の一部が代替品に置き換わったこともあり、減少することが見込まれる。生クリーム等向け生乳需要量は好調に推移しているが、バター・脱脂粉乳向け生乳需要量の減少分を補い切れず、乳製品向け生乳需要量の合計は減少すると見込まれている。

さらに本年度は、生乳需給のひっ迫傾向を背景に、チーズ原料乳は計画通りに供給できず、ほぼ前年度並みの需要量となろう。以上のことから、23年度における生乳の総需要量は22年度を下回ることが見込まれる。

なお、24年度の生乳需給については、社団法人日本酪農乳業協会において、専門家による検討がなされている。現時点では不確定要素が多いものの、これまでの傾向から本会議で見通した結果、乳製品向け生乳需要量が増加する一方、牛乳等向け生乳需要量が減少し、生乳の総需要量は大きな増加が期待できない状況にある。

今後3年間減産しない生乳計画生産対策

以上のような生乳需給をめぐる情勢及び課題等を踏まえ、さらなる生乳生産基盤の脆弱化を招かないよう、生産者が意欲をもち、計画的に生乳生産に取り組める環境を整備するため、平成24年度以降の生乳計画生産対策については、各地域の生乳生産基盤の実態に配慮するとともに、中期的な視点に立ち、今後3年間は前年度実績以上の目標数量の配分を行う中期計画生産に転換する。これを基本に、初年度となる24年度については、以下のような販売基準数量、特別調整乳数量、選択的拡大生産数量の生産枠で構成する計画生産目標数量を設定する。

〈販売基準数量〉

生産基盤の維持・拡大のため、生乳計画生産の基本枠となる各指定団体の販売基準数量は前年度実績数量を基本に算定し、各指定団体に配分した販売基準数量の総量を全国の販売基準数量として設定する。

なお、震災等の影響が大きかった地域の生乳生産基盤の復興・復旧を妨げないため、販売基準数量の算定に使用する平成23年度実績には、震災等により影響を受けた乳量を加算する。

〈特別調整乳数量〉

中期的な観点から予測される生乳需要量（チーズ向け除く）を踏まえて供給目標数量を設定し、供給目標数量から販売基準数量を差し引いた数量を特別調整乳数量として設定する。特別調整乳をもって、地域の実情に応じた生乳生産基盤の強化や、当面のバター・脱脂粉乳など乳製品需給の混乱回避への対応を図ることとする。

特別調整乳数量は、「特定乳製品向け取引への安定供給を実施すること」、「生乳需給が緩和し販売不可能乳が発生するか、又は発生が見込まれるなどによって生乳流通に混乱が生じた場合、乳製品在庫が著しく増加し、25年度生乳計画生産対策に悪影響を与えることが見込まれる場合の過剰回避対策を実施すること」を前提に、希望する指定団体に配分する。

〈選択的拡大生産数量〉

牛乳等向け生乳需要量が減少傾向にあるなかで、生乳生産基盤の維持・拡大を図るため、チーズ向け、輸出向け及び調製品との置き換えなど、既存需要に悪影響を与えない新規需要向けに販売する生乳数量について、引き続き選択的拡大生産数量として生産枠を設定する。

選択的拡大生産数量については、新規需要向けに販売された生乳であることを確認するための数量確認等を行うとともに、安定した新規需要先の確保を図る観点から、指定団体からの計画に基づき配分する。

TOPICS 2

トピックス…②

平成24年度 酪農経営安定対策の概要

昨年１２月２４日に平成２４年度一般会計予算案が閣議決定されたことをうけ、農林水産省牛乳乳製品課は同月２６日、牛乳乳製品関係事業の概要を発表した。加工原料乳生産者補給金やチーズ事業などの酪農経営安定対策では前年並みの予算を確保し、チーズ事業に新メニューとして「生産者需給調整機能強化対策」を組み入れた。

酪農経営安定対策に前年度並み予算を確保

牛乳乳製品関係の主な酪農経営安定対策事業は、加工原料乳を対象とする生産者補給金の交付（加工原料乳生産者補給金、所要額２２１億３５００万円）、チーズ向け生乳を対象とする助成金等の交付（チーズ向け生乳供給安定化対策事業、８７億６７００万円）、加工原料乳の価格が低落した場合の補てんへの助成（加工原料乳等生産者経営安定対策事業、基金規模６０億円）の３点で、対象乳量の大幅な未達で予算縮減が懸念されたチーズ事業を始め、ほぼ概算要求通りに決定された。

そのほか、生乳需給の安定を図るため、中長期的な予測モデルを作成する活動を支援する「新たな生乳需給安定化手法の開発」事業、国際乳製品規格にわが国の意見を反映させるための活動を支援する「乳製品国際規格策定活動支援」事業が措置された。このうち、加工原料乳生産者補給金は概算の所要額で、予算上は平成２３年度の補給金単価と限度数量から算出されており、２４年度の補給金単価と限度数量は例年同様、２～３月に「食料・農業・農村政策審議会畜産部会」を開催して決定される。

酪農経営安定対策事業の内容

（単位:百万円）

	平成２４年度	平成２３年度
加工原料乳生産者補給金[所要額]	22,135	22,135
チーズ向け生乳供給安定対策事業	8,767	8,768
加工原料乳等生産者経営安定対策事業[基金規模]	6,000	6,000
加工原料乳等生産者経営安定対策事業[推進事務費]	13	17
新たな生乳需給安定化手法の開発	12	18
乳製品国際規格策定活動支援	16	23

チーズ事業に新たな生乳需給調整対策を導入

チーズ向け生乳供給安定化対策事業では、チーズ向け生乳を対象にチーズ生産と酪農経営の安定が図られるよう助成金を交付する。これに加え、生乳需給が短期間で変動する状況の中で、国産乳製品の安定供給に対するユーザーの強い要望にも応えるため、指定団体自らが乳製品を製造し適時に放出する取組や、不需要期に乳製品需要を創出する取組を支援するため、製造費の２分の１（生乳ベースで最大６万トン）を補助する「生産者需給調整機能強化対策」を新設した。

従来から、加工原料乳向けとチーズ向けは生乳需給調整のための基幹的用途であり、両用途に仕向けられる生乳に一体的対策を講じることは、指定団体が取り組む生乳需給調整対策を補完するものであると期待される。したがって、同対策はチーズ向け生乳供給安定化対策事業の予算内で行うものであり、生乳の需給状況に応じて、チーズ向け生乳の数量枠の一部を削ることによってバターなど乳製品を製造することも、チーズ向け生乳に全予算を使うことも可能となっている。

加工原料乳等生産者経営安定対策事業では、加工原料乳向け生乳ばかりではなく、チーズ向け生乳の価格も基準価格を下回った場合、生産者に補てん金（低落分の８割）を交付するための積立金（８０億円）の一部を助成する。

この事業の背景には、加工原料乳生産地域における生乳の再生産の確保と全国の酪農経営の安定を図るため、加工原料乳生産者補給金を交付することとしているが、価格の低いチーズ向け生乳の仕向け量の増加に対応するための支援が必要であり、併せて、自由化品目であるチーズは国際競争にさらされており、国際市況の乱高下に対するセーフティネットとして、加工原料乳とは別にチーズ向け生乳に対しても、取引価格が低下した場合の経営への影響を緩和するための補てんを措置することが必要であるという政策課題がある。

TOPICS 3

トピックス…③

世界の酪農乳業情勢

国際乳製品市場は「新しい時代」を迎えた。乳製品の国際価格の推移をみると、15年ほど前までは低下傾向であったが、その後は2009年を例外として上昇基調にある。中国やインドなどで急増する乳製品の需要に、供給力の拡大が追いつかない状況が続いており、天災や気候変動による需給の変化が価格に大きく影響を及ぼす。このことを実感したのは、2007年に大幅な価格上昇を経験したときであった。国内市場と国際市場との関係は確実に深まっている。そこで、国際酪農連盟の報告書（The World Dairy Situation 2011）により、世界の酪農乳業情勢を概観してみたい。

地域・畜種別にみた生乳の生産動向

2010年における世界の全畜種の総生乳生産量は721百万トンで、前年に引き続き増加（前年対比+1.8%）した。ロシアの厳しい干ばつやパキスタンの洪水など劣悪な気象条件が生乳生産に悪影響を及ぼしたが、高水準の乳価が生産量を押し上げる効果を発揮した。

乳牛と水牛の生乳生産量は601百万トンと93百万トンで、増加率は過去10年間の平均値（+2.2%）よりも低いものの、乳牛の増加率が+1.6%（過去10年間の平均増加率+2.1%）、水牛が同+3.1%（同+3.3%）であった。山羊と羊に由来する生乳の増加率も+0.2%と+0.4%と、わずかずつではあるが着実に増加している（表1）。

品目別にみた乳製品の生産動向

表2に示したように、2010年は全ての乳製品で生産量の順調な増加がみられたが、そのうち脱脂粉乳の増加は比較的少なかった。2009年に積み上がった豊富な在庫がヨーロッパでの脱脂粉乳の生産を抑制し、くわえて国際市場での全脂粉乳とチーズの旺盛な需要によって、他の地域でも脱脂粉乳の生産が抑制された。

2010年における世界のナチュラルチーズ生産量は、2年間の低迷を脱却して前年対比+3.0%と急増し、20百万トン（うち18百万トンは乳牛由来）を超えたことが確実視されている。とくに、ＥＵと米国での生産量は前年対比+3.4%、同+2.9%と大きく伸び、ヨーロッパと北米が世界のナチュラルチーズ生産量の70%以上を占めている。

2010年における世界のバターとバターオイルの生産量は、以前ほどではないが増加傾向（前年対比+1.1%）を維持し、約9百万トンに達した。この増加に大きく貢献したのは、インドで生産されるギー（+6.3%）である。その他の国、とくにＥＵ（-1.3%）、米国（-0.4%）、ロシア（-10.9%）、ＮＺ（-7.2%）の生産量は減少した。

飲用乳の生産は、中国やロシアなどを中心に、最近の数年間に比較して大きく増加（+2.5%）した。

飲用乳・乳製品の消費動向

世界の人口一人当たり生乳消費量は、この10年間に94.9kgから104.7kgへ9.8kg（10%）増加した。この間、2009年にわずかな減少を示したものの、2010年には再び増加に転じた。人口一人当たりの生乳消費量が多い地域はＥＵの347kg（輸出・輸入量を考慮、以下同じ）、オセアニアの273kg、北米の269kgで、少ない地域はアフリカの44kg、アジアの67kgとなっており、地域間での格差が著しい（表3）。

しかし、2010年における最大の生乳消費地域は人口の多いアジアで、世界の総消費量の39%を占めており、続いてヨーロッパが29%、北アメリカが13%

表1　世界の畜種別生乳生産量の推移　　単位:千トン、%

畜種	2000年	2005年	2008年	2009年	2010年	2010年 前年比	10年間の平均増加率
乳牛	489,822	547,485	586,298	591,548	601,290	101.6	+ 2.1
水牛	67,080	79,425	86,716	90,064	92,885	103.1	+ 3.3
山羊	12,812	14,721	15,561	15,853	15,888	100.2	+ 2.2
羊	8,069	8,944	9,158	9,234	9,272	100.4	+ 1.4
その他	1,462	1,621	1,803	1,840	1,840	100.0	+ 2.3
計	579,245	652,196	699,536	708,539	721,175	101.8	+ 2.2

資料:Bulletin of the International Dairy Federation 451/2011、以下同じ。

表2　主要国における牛乳乳製品生産量の推移　　単位:百万トン、%

	2007年	2008年	2008年 前年比	2009年	2009年 前年比	2010年	2010年 前年比
飲用乳	116.0	118.0	101.7	120.0	101.7	123.0	102.5
バター バターオイル	8.1	8.7	107.4	8.9	102.3	9.0	101.1
チーズ（乳牛由来）	16.8	16.9	100.6	17.1	101.2	17.6	102.9
全脂粉乳	3.9	4.0	102.6	3.8	95.0	4.1	107.9
脱脂粉乳	3.3	3.5	106.1	3.7	105.7	3.7	100.0

表3　2010年における世界の生乳需給構造

	消費量 (百万トン)	消費量 シェア(%)	消費量 一人当たり(kg)	生産量 (百万トン)	生産量 シェア(%)	自給率(%)
アジア	277.4	39.1	66.6	255.2	36.0	92.0
ヨーロッパ	204.8	28.9	277.4	215.0	30.3	105.0
ＥＵ27	144.3	20.3	347.3	154.4	21.8	107.0
非ＥＵ	60.5	8.5	187.5	61.1	8.6	101.0
北米	92.8	13.1	269.4	95.6	13.5	103.0
南米	60.9	8.6	155.1	62.1	8.8	102.0
アフリカ	44.5	6.3	43.5	37.4	5.3	84.0
中米	19.4	2.7	124.5	16.3	2.3	84.0
オセアニア	10.0	1.4	273.3	26.1	3.7	261.0
世界	709.8	100.0	104.0	709.8	100.0	100.0

となっている。生乳消費量の急速な増加は南アメリカ（前年対比 +7%）とアジア（同 +6%）でみられ、とくにブラジルとアルゼンチンでの増加が顕著である。一方、減少している地域はオセアニア（同 -7%）とヨーロッパ（同 -1%）である。

この生乳消費を製品ベースでみると、北欧の国々では飲用乳の消費量が多い。なかでもエストニア、アイルランド、フィンランド、アイスランド、英国では、飲用乳の国民一人当たり消費量が 100kg を越えている。エストニア（137kg）、アイルランド（135kg）、フィンランド（127kg）の国民一人当たり消費量は、ＥＵ全体の平均消費量（65kg）のほぼ倍以上である。他の地域で 100kg を越えている国は豪州だけであり、日本は 33kg にすぎない（図１）。

乳製品貿易の変化

2010 年における乳製品の総貿易量は、世界の総生産量の 7%強（生乳換算）を占めており、その比率は安定的に推移している。乳製品の総貿易量は生乳換算で 51.9 百万トンに達し、前年比約 9%増で、長期間の平均増加率 3%を上回っている。2008 年末から 2009 年上期に発生した世界的な経済混乱により縮小した乳製品の国際貿易は、2010 年に急速に拡大したが、これは需要の順調な回復を物語っている（図２）。

この反動的回復の兆候は 2009 年後半にはすでに現れていたが、国際貿易の拡大は米国の輸出量の急増とそれを上回る勢いのＥＵによるところが大きい。米ドル安の進展による交易条件の改善によって、米国は輸出量が減少傾向にあった豪州を抜いて、4 年連続で順調な増加を続けるＥＵ、変動の大きいＮＺに続く世界第 3 番目の乳製品輸出国となった。乳製品貿易の活発化は、これら 4 大輸出国が世界の乳製品貿易量に占める割合を 73%にまで高め、それら国々の優位な立場をより強固なものにした。

図1　2010年における飲用乳の国民一人当たり消費量　(kg/年)

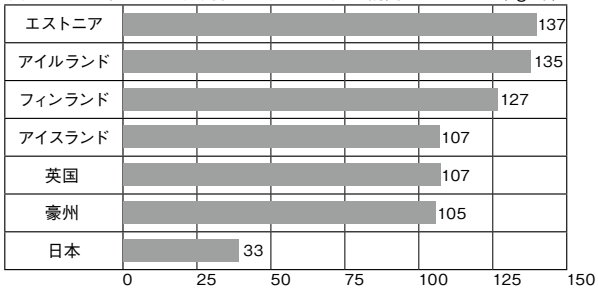
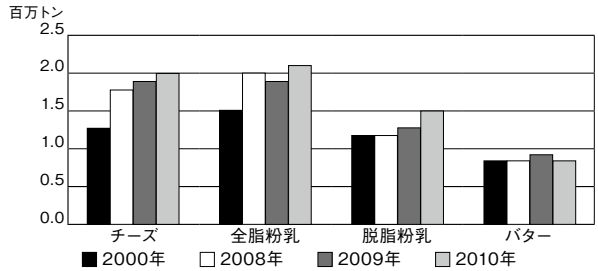


図2　世界の乳製品貿易量の推移



注）全脂粉乳には部分脱脂粉乳、バターにはバターオイルを含む。

生乳・乳製品価格の動向

先に述べたように、世界経済の緩やかな回復にともなう需要の増加によって、2010 年上期の国際乳製品市場は輸出主導で拡大した。2010 年下期になると、世界金融危機後の生乳生産量の減少が価格に影響を及ぼし始めた。この間の国際市場価格は短期間に変化した。2010 年の乳製品価格は 9 月に一度上昇し、年末には全ての品目の価格が一段と上昇した。なかでもバター価格の変動が最も大きく、1 年間に 20%以上も上昇した。脱脂粉乳と全脂粉乳の価格上昇率は、それぞれ 14%と 9%であった。

2011 年上期における国際乳製品市場価格は引き続き高水準で推移し、3 月にはバターがトン当たり 4,900 米ドルを超えて高値記録を更新した。4 月と 5 月に価格低下が見られたものの、ＮＺとＥＵの供給制限を背景に高い水準を維持している。

2008 年下期から 2009 年上期にかけて下落した生乳価格は、2010 年に力強い回復をみせた。ヨーロッパの 17 の大手乳業が支払った平均乳価は、2009 年に比べて 100kg 当たり 4.08 ＥＵＲ、率にして 15%上昇した。その他の国でも急速な価格回復がみられ、ＮＺではフォンテラの支払い乳価が 22%、米国ではチーズ原料となるクラスⅢ生乳が 27%上昇した。2011 年上期の生乳価格も引き続き高水準で推移している。

世界の生乳生産見通し

FAO と FAPRI の短期見通しによると、2011 年における世界の生乳生産は好調に推移する（表４）。中国、インド、アルゼンチン、ブラジルの生乳生産には持続的な拡大がみられ、EU、米国、メキシコではわずかに増加する。日本、ロシア、ウクライナでは減少するが、オセアニアではわずかに増加する。FAO・OECD と FAPRI の長期見通しでは、世界の総生乳生産量は今後年率 1.8 ～ 1.9%で増加する見込みである。

表４　主要国の生乳生産見通し　単位:千トン、%

	FAO-OECDによる試算		FAPRIによる試算	
	2020年生産量	年平均成長率	2020年生産量	年平均成長率
EU27	153,589	0.3	138,937	0.3
インド	153,020	2.9	154,991	3.3
米国	101,071	1.4	98,716	1.2
中国	59,064	3.5	47,290	5.0
パキスタン	43,343	2.5	n.a	n.a
ロシア	36,208	1.0	27,726	-1.4
ブラジル	35,188	1.9	39,329	2.7
ＮＺ	22,145	2.8	22,482	2.3
アルゼンチン	14,015	3.0	13,757	2.6
ウクライナ	13,204	1.2	12,994	1.7
メキシコ	11,518	0.8	15,657	3.6
豪州	10,493	0.9	11,018	1.8
カナダ	9,032	0.6	8,101	-0.3
日本	n.a	n.a	7,372	-0.6

INFOMATION

第38回酪農海外現地実務研修会

2011年11月5日から15日まで、第38回酪農海外現地実務研修会としてニュージーランドとオーストラリアを訪問した。両国に共通する大きな特長は、政府からの補助金に頼らず、自由競争の中で酪農を営んでいるということである。そこで今回の研修では、政府機関への訪問は行わず、生産者団体や乳業者、酪農家といった現場を中心に研修を行った。データ等の詳細は報告書に譲るとして、ここでは酪農の生産現場で実際に見聞きし、感じたことをお伝えしたいと思う。

ニュージーランドの酪農

オークランドに降り立った私達がまず目にするのは、一面の緑。まるで芝生のようだが、そうではなく牧草である。イギリスから来た入植者達が土地を切り拓き、牧草の種を播いたところ、今では民家の庭にまで芝生然として生え、花壇の作成にも困るほどであるとか。

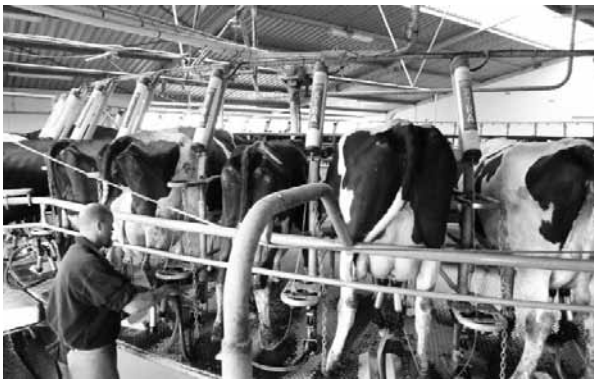
そういった国土のほとんどを覆い尽くすかのような牧草地に立脚した、世界で最も競争力のある酪農を行っているのがニュージーランドである。

完全昼夜放牧と季節繁殖により、低コストに牧草から生産された生乳はフォンテラによって乳製品に加工され、95％が輸出される。そのため水分に価値はなく、乳価も乳脂肪と乳蛋白質重量の合算で支払われている。フォンテラは、国内での集乳シェアが9割を超え、世界の乳業会社の販売額ランキング第3位の、巨大酪農協である。

そのフォンテラからの紹介で、ワイカトのグレッグ＆シャロン・アダムズの牧場を訪問した。牧場名は特になく、フォンテラのSupply No. 72373という番号があるそうだ。牧場で応対してくれたアンドリュー・ウェリントンとホーリー・アダムスは、オーナーの義理の息子と実の娘である。この牧場は220ヘクタールあり、搾乳牛は750頭。彼らの予測では、このシーズンの出荷量は350,000KgMS（kilograms of milksolids）となる。ここでは、アンドリューとホーリーに加え、二人の常勤労働者が働いており、オーナーのグレッグも必要に応じて手を貸している。

説明を聞いている間にも、放牧されていた乳牛達が帰ってきて、ロータリーパーラーの前に行列を作っていた。アンドリューとホーリーは、この中の60頭が彼らの牛で、頭数を増やしていき1軒もてるようになったら、自分の牧場を買いたいと夢を語ってくれた。

このように、日本と違い牧場をもっていなくても、牛を置かせてもらい搾乳作業を行う。そしていつか独立するという酪農の営みもあるのだ。

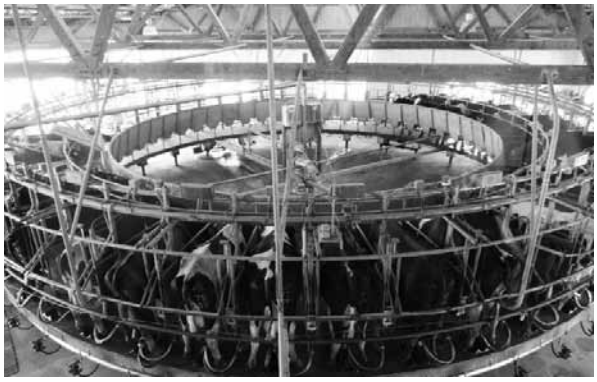


オーストラリアの酪農

オーストラリアは、ニュージーランドに比べて比較的大きな市場を自国内にかかえており、飲用乳の需要も増加している。また、地域によって飲用乳地帯や加工・輸出がメインの地域というように分かれており、それぞれに事情が異なる。

我々が訪問したのは、酪農が最も盛んな加工乳地域であるヴィクトリア州にある、カルダーミードファームだ。カフェを併設しており、我々の訪問時にもにぎわっていた。そこで昼食をとった後、農場を案内してもらった。オーナーのマックス氏は、別の場所にも農場を持っており、この場所は6年半前に購入したそうだ。購入した理由は、一般の人はあまり酪農について知らないことから教育という目的と、メルボルン市内から75kmと比較的近い場所にあるため、なんらかの投資になるとの見込みからだそうだ。元々の農場は800haで1000頭、1頭あたりの乳量は年間8,500リットル。こちらの農場は180haで360頭、1頭あたりの乳量は年間8,000リットルとのこと。

オーストラリアでもニュージーランドと同様に、乳脂肪と乳蛋白に対して乳価が支払われる。コストに関しては、非常に敏感で、乳価から逆算して儲けを出すためにはエサ代をいくらにしないといけないかを意識しているという。この牧場には搾乳作業の見学場所も用意されており、2階からロータリーパーラーを見下ろすことができた。我々以外にも多数の人々が訪れていた。



マックス氏は、オーストラリア最大の集乳シェアをほこる酪農協系乳業のマレーゴールバンに全量出荷している。何故マレーゴールバンに生乳を出荷しているのかとの質問に、マレーゴールバンはオーストラリアの全国市場の乳価を決定するような立場にあるということと、他の乳業メーカーはできるだけ安価に生乳を買おうとするが、自分が株主であるマレーゴールバンは見返りも全部自分に返ってくる、ということを挙げていた。

おわりに

ニュージーランドとオーストラリアは政府からの補助金が無い点や、大規模経営で放牧主体、輸出がメインであるという点は共通している。しかし、細部を見てみると、ニュージーランドの方がより極端に低コストで輸出向けに生産を行っている。牧草が減少する6～7月に国中で一斉に乾乳し、工場の操業もストップする。これはニュージーランド酪農が乳製品輸出主体だからこそできることである。

興味をひかれたのは、両国とも酪農家が出資・所有している乳業、いわゆる農協乳業が国内最大の集乳シェアを占めており、酪農家が自分たちの会社だという自覚を持っていたという点と、酪農家のコストに関する意識の高さが見受けられた点であろう。我が国とは規模もなにもかも違う両国ではあるが、酪農家の農協乳業との関わりとコスト感覚は、今後の我が国酪農を考える上で、大いに参考になるのではないだろうか。

SCHEDULE CALENDAR

2月 February

□中央酪農会議・関連団体スケジュール
■指定団体スケジュール

日/SUN	月/MON	火/TUE	水/WED	木/THU	金/FRI	土/SAT
29	30	31	1 国際酪農連盟:第34回幹事会、乳業会館、14:00 Ｊミルク:マーケティング委員会、 Ｊミルク会議室、13:30	2	3 指定団体・全国連実務責任者会議、東京八重洲ホール、13:30	4
			東海:第２回生乳受託販売委員会、大津橋ビル、11:30	東海:食べる牛乳セミナー、三重県総合文化センター、11:00 四国:第1回事業推進会議、サンポートホール高松、13:00		
5	6	7 酪農教育ファーム認証研修会、大阪、～８日 Ｊミルク:普及専門部会、Ｊミルク会議室、13:30	8	9 Ｊミルク:課題検討委員会、Ｊミルク会議室、13:30	10 第３１９回理事会	11
		関東:実務責任者会議、湯島夏目ビル、13:30 四国:第２７回臨時総会・第４回理事会・第４６回生乳受託販売委員会、喜代美山荘花樹海、13:00		東海:食べる牛乳セミナー、松本合同庁舎、10:00		
12	13 農水省:中央畜産技術研修会、家畜改良センター、 ～１４日	14 指定団体・会員・全国機関等役職員専門研修会、ＴＫＰ東京駅ビジネスセンター、～15日	15	16 地域交流牧場全国連絡会:全国研修会、熱海、13:00	17 地域交流牧場全国連絡会:第６５回理事会、崎陽軒本店、13:30 Ｊミルク:理事会	18
		東海:酪農教育ファーム長野県推進委員会、信州ミルクランド、10:30 近畿:第4回生乳受託販売委員会、第7回理事会、大阪ＪＡビル		乳用牛群検定全国協議会:検定促進事業に係る濃密研修会、日本青年館ホテル、15:25 九州:理事会、11:00	東海:第８２回理事会、大津橋ビル、11:30	
19	20 蔵王酪農センター:国産ナチュラルチーズ製造技術研修会	21 酪農教育ファーム認証研修会、札幌、13:00	22	23 生乳計画生産に係る担当者会議、東京八重洲ホール、13:30 乳用牛群検定全国協議会:検定促進事業に係る濃密研修会、八百治博多ホテル、15:25	24	25 食といのちの学び協議会:酪農体験、大阪府民牧場、10:30 蔵王酪農センター:国産ナチュラルチーズ・シンポジウムin蔵王、ラフォーレ蔵王
			東海:酪農教育ファーム愛知県推進委員会、酪農センター、11:30 関東:第１５６回理事会、湯島夏目ビル、13:30			
26	27	28	29 指定団体・全国連実務責任者会議、東京八重洲ホール、13:30			
		近畿:第5回酪農教育ファーム近畿地域専門委員会、第13回同推進委員会、大阪ＪＡビル				

人事異動

中央酪農会議 ○２月１日付
帰任・全農酪農部乳製品第二課長　中島 靖勝
帰任・全酪連福岡支所　吉村　薫

近畿生乳販連 ○２月１日付
帰任・全農酪農部総合課　出口 修身
全農より出向　武田 太郎

四国生乳販連 ○２月１日付
全農より出向　角野 広隆

3月 March

日/SUN	月/MON	火/TUE	水/WED	木/THU	金/FRI	土/SAT
26	27	28	29	1	2	3
4	5	6	7 第320回理事会	8	9	10
	九州:第４回生乳受託販売委員会、13:00 北陸:第５回生乳受託販売委員会、富山市、11:30			関東:第１５７回理事会、湯島夏目ビル、13:30 北陸:第５回理事会、金沢市、13:00		関東:ＮＨＫイベント「ふるさとの食にっぽんの食」渋谷ＮＨＫホール前、～11日
11	12	13	14	15	16	17 食といのちの学び協議会:酪農体験、関口牧場、10:30
18 近畿:消費拡大・酪農理解醸成イベント、大阪万博記念公園	19	20	21	22	23	24
						関東:関東酪農教育ファーム推進委員会、八重洲ホール
25	26 日本草地畜産種子協会:理事会、日本草地畜産種子協会会議室、11:00	27	28	29	30	31
			関東:第１５８回理事会	九州:臨時総会、14:30		

酪農関係データ

1-a. 平成23年度11月用途別販売実績（速報）

平成23年12月15日現在　社団法人 中央酪農会議

1）総受託乳量

指定団体	11月 トン	11月 前年同月比 %	4−11月累計 トン	4−11月累計 前年同月比 %
北海道	300,773	101.7	2,518,102	98.9
青森	5,569	100.3	44,293	94.5
岩手	16,794	101.0	132,704	94.4
宮城	10,080	98.0	77,822	89.1
秋田	2,526	106.1	19,534	96.3
山形	5,762	99.7	46,851	92.1
福島	6,142	86.1	44,528	72.9
東北生乳販連	46,873	98.1	365,733	89.9
茨城	13,070	101.6	100,029	91.0
栃木	23,792	100.2	195,819	96.7
群馬	17,486	99.1	145,107	95.7
埼玉	5,438	97.2	45,868	94.3
千葉	18,675	96.0	154,126	94.2
東京	811	99.5	6,788	94.2
神奈川	3,663	93.0	31,041	89.1
山梨	1,045	97.1	8,602	93.0
静岡	7,532	102.8	61,628	99.0
関東生乳販連	91,511	99.0	749,008	94.8
大島・八丈島	7	56.0	65	60.7
関東合計	91,518	99.0	749,073	94.8
新潟	4,431	95.4	37,673	91.8
富山	1,131	99.2	9,588	95.6
石川	1,733	99.4	14,431	96.0
福井	568	99.6	4,724	90.5
北陸酪連	7,862	97.1	66,417	93.1
長野	8,821	98.6	73,173	96.0
岐阜	3,600	96.7	29,787	94.3
愛知	16,009	99.7 (99.3)	130,654	97.2 (96.8)
三重	3,971	102.2	31,920	99.1
東海酪連	32,401	99.4 (99.1)	265,535	96.8 (96.6)
滋賀	1,477	97.0	12,118	96.1
京都	1,939	97.4	16,178	93.3
大阪	925	94.0	7,650	91.6
兵庫	7,805	96.4	65,208	93.7
奈良	2,196	102.3	17,948	95.3
和歌山	335	98.6	2,959	101.8
近畿生乳販連	14,677	97.3	122,061	94.2
鳥取	4,745	100.2	38,820	96.2
島根	4,673	102.5	39,112	99.7
岡山	7,891	98.7	64,735	95.7
広島	4,430	98.7	37,351	97.3
山口	1,433	96.3	12,156	96.1
中国生乳販連	23,172	99.6	192,173	96.9
徳島	2,872	96.7	24,028	94.3
香川	2,769	98.6	22,630	97.3
愛媛	3,154	97.8	26,336	95.6
高知	1,953	94.8	15,967	96.3
四国生乳販連	10,747	97.1	88,961	95.8
福岡	6,872	97.3	57,314	95.3
佐賀	1,540	91.9	12,827	88.7
長崎	3,837	102.5	31,894	98.4
熊本	18,809	101.8	154,157	99.1
大分	6,532	95.7	53,938	93.1
宮崎	6,650	116.5	53,724	107.1
鹿児島	6,772	100.7	56,616	98.8
九州生乳販連	51,013	101.6	420,470	98.3
都府県	278,264	99.2 (99.2)	2,270,423	94.9 (94.9)
合計	579,037	100.5 (100.5)	4,788,525	97.0 (97.0)

2）販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	11月 トン	11月 前年同月比 %	4−11月累計 トン	4−11月累計 前年同月比 %
北海道	300,773	101.7	2,518,102	98.9
東北生乳販連	46,870	98.1	365,714	89.9
関東生乳販連	91,511	99.0	749,008	94.8
大島・八丈島	7	56.0	65	60.7
関東合計	91,518	99.0	749,073	94.8
北陸酪連	7,862	97.1	66,417	93.1
東海酪連	32,401	99.4	265,535	96.8
近畿生乳販連	14,677	97.3	122,061	94.2
中国生乳販連	23,172	99.6	192,173	96.9
四国生乳販連	10,747	97.1	88,961	95.8
九州生乳販連	51,013	101.6	420,470	98.3
都府県	278,261	99.2	2,270,405	94.9
合計	579,034	100.5	4,788,507	97.0

注1）　この速報は、キロ（kg）で報告いただた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。
注2）　総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比。

3）飲用牛乳用

指定団体	11月		4−11月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	62,057	101.9	561,101	107.1
東北生乳販連	35,769	102.3	273,737	95.2
関東生乳販連	70,047	98.3	569,453	97.1
大島・八丈島	6	59.6	64	68.9
関東計	70,054	98.2	569,517	97.1
北陸酪連	7,540	97.0	63,586	93.6
東海酪連	27,502	99.3	224,287	97.8
近畿生乳販連	13,767	97.2	114,241	94.3
中国生乳販連	17,326	99.6	140,634	97.1
四国生乳販連	9,502	104.0	78,082	102.0
九州生乳販連	40,104	101.1	325,008	99.0
都府県	221,564	99.8	1,789,091	97.2
合計	283,621	100.2	2,350,193	99.4

4）はっ酵乳等向

指定団体	11月		4−11月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	5,822	112.7	47,112	112.8
東北生乳販連	5,063	90.5	40,047	83.5
関東生乳販連	14,188	96.9	116,410	97.0
大島・八丈島	0	69.2	1	48.4
関東計	14,188	96.9	116,411	97.0
北陸酪連	169	92.1	1,630	96.8
東海酪連	3,335	89.5	29,661	89.5
近畿生乳販連	909	99.3	7,576	92.2
中国生乳販連	4,290	101.3	38,319	99.3
四国生乳販連	681	52.7	7,183	68.2
九州生乳販連	5,463	105.8	47,701	109.5
都府県	34,098	95.4	288,527	95.0
合計	39,919	97.5	335,640	97.2

5）特定乳製品向け

指定団体	11月		4−11月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	100,644	94.3	861,626	89.0
東北生乳販連	3,212	80.6	35,982	75.1
関東生乳販連	4,658	117.2	44,468	70.5
大島・八丈島	0	-	0	-
関東計	4,658	117.2	44,468	70.5
北陸酪連	74	116.7	570	49.4
東海酪連	989	145.5	7,311	85.0
近畿生乳販連	0	-	244	76.0
中国生乳販連	550	107.8	4,801	80.9
四国生乳販連	459	94.1	2,908	61.2
九州生乳販連	2,898	100.9	26,877	74.1
都府県	12,841	102.2	123,161	73.3
合計	113,485	95.1	984,787	86.7

6）生クリーム等向け

指定団体	11月		4−11月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	96,854	106.5	756,010	106.3
東北生乳販連	2,572	90.0	13,939	68.3
関東生乳販連	2,548	104.1	18,146	91.7
大島・八丈島	0	-	0	-
関東計	2,548	104.1	18,146	91.7
北陸酪連	77	100.1	611	123.0
東海酪連	290	123.3	2,455	129.9
近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	966	88.2	8,142	92.9
四国生乳販連	87	64.5	713	73.7
九州生乳販連	2,475	100.8	20,342	105.2
都府県	9,014	96.9	64,349	89.8
合計	105,868	105.6	820,359	104.8

7）チーズ向け

指定団体	11月		4−11月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	35,397	110.8	292,251	97.4
東北生乳販連	254	73.6	2,009	61.4
関東生乳販連	70	84.8	531	87.3
大島・八丈島	0	-	0	-
関東計	70	84.8	531	87.3
北陸酪連	2	187.2	20	115.0
東海酪連	286	103.6	1,821	120.1
近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	41	116.3	278	107.7
四国生乳販連	18	137.0	76	117.7
九州生乳販連	74	85.4	542	91.8
都府県	745	88.7	5,277	83.4
合計	36,141	110.2	297,528	97.1

8）全乳哺育向け

指定団体	11月		4−11月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	2	100.0	18	79.9
関東生乳販連	0	-	0	-
大島・八丈島	0	-	0	-
関東計	0	-	0	-
北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	2	100.0	18	79.9
合計	2	100.0	18	79.9

注）　この速報は、キロ（kg）で報告いただた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していない。ことがあります。予めご了承下さい。

1-b. 平成23年度12月用途別販売実績（速報）

平成24年1月16日現在　社団法人 中央酪農会議

1）総受託乳量

指定団体	12月 トン	12月 前年同月比 %	4−12月累計 トン	4−12月累計 前年同月比 %
北海道	315,113	101.1	2,833,215	99.2
青森	5,952	100.6	50,245	95.2
岩手	17,617	100.9	150,321	95.1
宮城	10,442	96.7	88,264	89.9
秋田	2,676	107.1	22,210	97.5
山形	6,211	102.2	53,062	93.2
福島	6,444	86.6	50,973	74.4
東北生乳販連	49,341	98.3	415,074	90.8
茨城	13,622	100.3	113,651	92.1
栃木	24,916	100.3	220,736	97.1
群馬	18,481	99.5	163,588	96.1
埼玉	5,646	97.0	51,513	94.6
千葉	19,587	97.2	173,713	94.5
東京	861	97.9	7,649	94.6
神奈川	3,962	95.1	35,002	89.7
山梨	1,093	97.6	9,694	93.5
静岡	7,971	104.2	69,599	99.6
関東生乳販連	96,138	99.3	845,146	95.3
大島・八丈島	8	65.1	73	61.1
関東合計	96,146	99.3	845,219	95.3
新潟	4,743	98.6	42,417	92.6
富山	1,175	95.3	10,763	95.6
石川	1,845	99.3	16,276	96.3
福井	588	98.3	5,313	91.3
北陸酪連	8,351	98.3	74,768	93.7
長野	9,139	99.1	82,313	96.4
岐阜	3,740	96.3	33,528	94.5
愛知	16,605	99.6	147,259	97.4
		(99.1)		(97.0)
三重	4,236	106.7	36,156	99.9
東海酪連	33,720	99.9	299,255	97.1
		(99.7)		(96.9)
滋賀	1,553	97.8	13,672	96.3
京都	2,050	98.7	18,228	93.9
大阪	972	95.4	8,622	92.0
兵庫	8,351	97.7	73,558	94.1
奈良	2,278	103.7	20,226	96.2
和歌山	385	106.9	3,344	102.3
近畿生乳販連	15,589	98.8	137,650	94.7
鳥取	5,003	101.5	43,823	96.7
島根	4,905	102.8	44,017	100.0
岡山	8,244	100.7	72,979	96.2
広島	4,543	98.2	41,894	97.4
山口	1,480	94.2	13,636	95.9
中国生乳販連	24,176	100.4	216,349	97.3
徳島	3,073	98.3	27,101	94.8
香川	2,990	100.2	25,620	97.6
愛媛	3,342	98.6	29,678	96.0
高知	2,004	96.1	17,971	96.3
四国生乳販連	11,408	98.5	100,370	96.1
福岡	7,304	98.1	64,618	95.6
佐賀	1,616	91.2	14,443	89.0
長崎	4,104	102.3	35,998	98.8
熊本	20,024	103.0	174,181	99.6
大分	6,875	97.3	60,813	93.6
宮崎	7,006	116.1	60,729	108.0
鹿児島	7,417	102.9	64,033	99.3
九州生乳販連	54,346	102.6	474,816	98.7
都府県	293,077	99.8	2,563,501	95.5
		(99.8)		(95.5)
合計	608,191	100.5 (100.4)	5,396,716	97.4 (97.4)

2）販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	12月 トン	12月 前年同月比 %	4−12月累計 トン	4−12月累計 前年同月比 %
北海道	315,113	101.1	2,833,215	99.2
東北生乳販連	49,339	98.3	415,053	90.8
関東生乳販連	96,138	99.3	845,146	95.3
大島・八丈島	8	65.1	73	61.1
関東合計	96,146	99.3	845,219	95.3
北陸酪連	8,351	98.3	74,768	93.7
東海酪連	33,720	99.9	299,255	97.1
近畿生乳販連	15,589	98.8	137,650	94.7
中国生乳販連	24,176	100.4	216,349	97.3
四国生乳販連	11,408	98.5	100,370	96.1
九州生乳販連	54,346	102.6	474,816	98.7
都府県	293,075	99.8	2,563,480	95.5
合計	608,188	100.5	5,396,695	97.4

注1)　この速報は、キロ(kg)で報告いただた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。
注2)　総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比。

3）飲用牛乳用

指定団体	12月		4−12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	51,078	98.5	612,179	106.3
東北生乳販連	33,445	100.1	307,182	95.7
関東生乳販連	66,478	96.9	635,931	97.1
大島・八丈島	7	61.0	71	68.1
関東計	66,485	96.9	636,002	97.1
北陸酪連	7,744	97.9	71,330	94.0
東海酪連	26,909	98.4	251,195	97.9
近畿生乳販連	14,422	100.0	128,663	94.9
中国生乳販連	17,468	99.2	158,102	97.4
四国生乳販連	9,456	102.9	87,537	102.1
九州生乳販連	35,820	98.5	360,829	99.0
都府県	211,748	98.6	2,000,840	97.3
合計	262,826	98.6	2,613,019	99.3

4）はっ酵乳等向

指定団体	12月		4−12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	5,004	116.1	52,116	113.1
東北生乳販連	5,034	93.0	45,081	84.5
関東生乳販連	14,015	95.7	130,425	96.9
大島・八丈島	0	53.8	1	48.7
関東計	14,015	95.7	130,426	96.9
北陸酪連	192	90.7	1,822	96.1
東海酪連	3,382	94.2	33,043	89.9
近畿生乳販連	1,003	91.3	8,579	92.1
中国生乳販連	4,264	102.9	42,583	99.7
四国生乳販連	721	57.2	7,904	67.0
九州生乳販連	5,046	105.2	52,746	109.0
都府県	33,657	95.7	322,184	95.1
合計	38,660	97.9	374,300	97.3

5）特定乳製品向け

指定団体	12月		4−12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	124,603	98.0	986,229	90.0
東北生乳販連	7,773	105.1	43,755	79.2
関東生乳販連	12,648	119.5	57,116	77.5
大島・八丈島	1	207.8	1	5.5
関東計	12,649	119.5	57,116	77.5
北陸酪連	328	112.8	898	62.2
東海酪連	2,826	120.3	10,138	92.5
近畿生乳販連	164	61.5	409	69.4
中国生乳販連	1,213	117.4	6,013	86.3
四国生乳販連	1,141	111.4	4,049	70.1
九州生乳販連	10,314	118.0	37,191	82.6
都府県	36,408	114.9	159,569	79.9
合計	161,011	101.4	1,145,798	88.5

6）生クリーム等向け

指定団体	12月		4−12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	97,434	106.8	853,445	106.4
東北生乳販連	2,786	77.0	16,725	69.6
関東生乳販連	2,922	100.7	21,068	92.8
大島・八丈島	0	-	0	-
関東計	2,922	100.7	21,068	92.8
北陸酪連	83	104.5	694	120.5
東海酪連	306	133.1	2,762	130.3
近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	1,196	93.9	9,338	93.0
四国生乳販連	81	88.9	793	75.0
九州生乳販連	3,097	102.7	23,439	104.8
都府県	10,470	93.4	74,819	90.3
合計	107,905	105.3	928,264	104.9

7）チーズ向け

指定団体	12月		4−12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	36,994	99.1	329,246	97.6
東北生乳販連	301	89.1	2,310	64.0
関東生乳販連	76	100.6	607	88.8
大島・八丈島	0	-	0	-
関東計	76	100.6	607	88.8
北陸酪連	5	193.6	25	124.4
東海酪連	297	124.7	2,117	120.7
近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	34	105.5	313	107.4
四国生乳販連	10	51.2	85	102.4
九州生乳販連	68	113.2	610	93.8
都府県	791	103.2	6,068	85.5
合計	37,786	99.2	335,314	97.3

8）全乳哺育向け

指定団体	12月		4−12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同月比 %
北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	2	103.3	21	82.1
関東生乳販連	0	-	0	-
大島・八丈島	0	-	0	-
関東計	0	-	0	-
北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	2	103.3	21	82.1
合計	2	103.3	21	82.1

注1）　この速報は、キロ(kg)で報告いただいた数量をトンに直して少数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、
　　合計が一致していないことがあります。予めご了承下さい。
注2）　総受託乳量の括弧内の前年比は，アウト・イン修正後の前年比。

2. 計画生産の取り組み状況

単位：t

	23年度														
	計画生産目標数量①	実績数量													計画生産残量③＝①－②
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計②	
北海道	3,867,901	314,714	327,508	319,403	321,234	317,831	304,889	311,750	300,773	315,113				2,833,215	1,034,686
前年比(%)	102.1	99.5	98.1	96.4	96.8	99.0	99.6	100.9	101.7	101.1				99.2	111.1
東　北	593,324	41,533	48,083	45,448	44,963	45,862	45,132	47,838	46,873	49,341				415,074	178,250
前年比(%)	100.5	78.4	88.6	87.2	86.1	91.9	94.0	96.3	98.1	98.3				90.8	133.8
関　東	1,137,396	94,618	103,402	95,267	92,639	90,618	87,843	93,170	91,518	96,146				845,219	292,177
前年比(%)	97.4	90.1	95.5	93.1	92.6	95.3	96.2	97.6	99.0	99.3				95.3	103.8
北　陸	100,715	9,039	9,331	8,559	8,122	7,860	7,610	8,033	7,862	8,351				74,768	25,947
前年比(%)	95.1	94.2	95.1	91.3	87.5	92.1	94.1	94.2	97.1	98.3				93.7	99.4
東　海	409,659	35,269	36,187	33,483	32,602	31,595	30,938	33,060	32,401	33,720				299,255	110,404
前年比(%)	99.8	96.6	96.5	94.8	94.6	96.3	98.1	98.2	99.4	99.9				97.1	108.1
近　畿	189,410	16,526	16,955	15,520	14,844	14,399	14,107	15,033	14,677	15,589				137,650	51,760
前年比(%)	98.0	93.5	94.4	91.6	90.1	94.1	95.7	97.2	97.3	98.8				94.7	108.2
中　国	293,525	25,415	26,289	24,145	23,606	23,103	22,613	23,831	23,172	24,176				216,349	77,176
前年比(%)	99.4	95.7	97.4	94.4	94.0	97.5	98.4	98.7	99.6	100.4				97.3	105.9
四　国	135,356	12,249	12,435	11,252	10,696	10,411	10,306	10,866	10,747	11,408				100,370	34,986
前年比(%)	97.0	97.2	97.2	94.8	92.0	95.2	97.1	95.8	97.1	98.5				96.1	99.5
九　州	654,125	56,523	57,882	52,874	51,155	49,949	49,195	51,878	51,013	54,346				474,816	179,309
前年比(%)	101.7	94.8	96.1	96.3	96.4	99.9	101.4	100.9	101.6	102.6				98.7	110.4
都府県	3,513,509	291,171	310,565	286,548	278,628	273,796	267,743	283,708	278,264	293,077				2,563,501	950,008
前年比(%)	99.1	90.8	94.8	92.9	92.2	95.7	97.1	97.9	99.2	99.8				95.5	110.3
合　計	7,459,618	605,885	638,073	605,951	599,862	591,627	572,632	595,458	579,037	608,191				5,396,716	2,062,902
前年比(%)	101.7	95.2	96.4	94.7	94.6	97.4	98.4	99.5	100.5	100.5				97.4	115.1

注）前年比は、前年実績との比率。「計画生産目標数量」は平成23年11月末現在。

3. 用途別販売実績の過去の推移

(1) 実績数量

単位：千t

	総受託乳量 ①＝②＋⑨	販売乳量計 ②＝⑦＋⑧	飲用牛乳向 ③	はっ酵乳等向 ④	特定乳製品向 ⑤	生クリーム等向 ⑥	計画生産枠内 ⑦＝③＋④＋⑤＋⑥	チーズ向 ⑧	全乳 哺育向 ⑨
18年度	**7,746.7**	**7,746.6**	**3,934.6**	**491.1**	**2,032.6**	**949.7**	**7,408.0**	**338.6**	**0.1**
19年度	**7,694.1**	**7,694.0**	**3,810.5**	**520.4**	**1,961.1**	**1,023.8**	**7,315.0**	**379.0**	**0.1**
20年度	**7,625.9**	**7,625.9**	**3,745.4**	**489.1**	**1,844.2**	**1,105.9**	**7,184.7**	**441.2**	**0.1**
21年度	**7,582.9**	**7,582.8**	**3,539.8**	**497.2**	**2,033.0**	**1,070.6**	**7,140.6**	**442.2**	**0.1**
22年度	**7,333.9**	**7,333.9**	**3,426.3**	**495.8**	**1,797.9**	**1,145.1**	**6,865.0**	**468.9**	**0.0**
21.4	650.5	650.5	295.0	43.4	186.7	90.2	615.2	35.3	0.0
5	677.0	677.0	309.2	44.6	191.0	94.5	639.2	37.7	0.0
6	645.2	645.2	315.5	42.9	162.2	89.8	610.4	34.9	0.0
7	642.4	642.3	309.8	43.2	162.5	94.0	609.5	32.9	0.0
8	627.4	627.4	290.3	43.0	169.2	91.6	594.0	33.4	0.0
9	608.0	608.0	317.8	41.4	128.0	89.4	576.5	31.5	0.0
10	621.2	621.2	310.3	41.3	135.6	93.9	581.1	40.1	0.0
11	601.0	601.0	290.4	40.3	141.5	89.9	561.9	39.1	0.0
12	628.4	628.4	273.6	39.4	182.0	94.2	589.2	39.2	0.0
22.1	639.5	639.4	280.0	39.4	200.7	78.6	598.6	40.8	0.0
2	586.6	586.5	268.2	36.8	168.1	76.4	549.5	37.1	0.0
3	655.8	655.8	279.7	41.7	205.8	88.4	615.5	40.2	0.0
22.4	636.7	636.7	276	41.4	190.4	90.5	598.2	38.4	0.0
5	661.6	661.6	297.5	44.3	184.3	96.1	622.2	39.4	0.0
6	639.7	639.7	306.1	44.6	154.4	93.1	598.2	41.6	0.0
7	634.1	634.1	300.7	44.9	146.7	99.1	591.4	42.7	0.0
8	607.1	607.1	285.9	44.3	135.2	99.4	564.9	42.3	0.0
9	581.9	581.9	315.0	41.8	91.3	98.8	546.9	35.0	0.0
10	598.7	598.7	301.4	43.2	114.5	105.3	564.5	34.3	0.0
11	576.2	576.2	283.0	40.9	119.3	100.3	543.4	32.8	0.0
12	605.5	605.5	266.7	39.5	158.8	102.4	567.4	38.1	0.0
23.1	616.2	616.2	269.3	38.8	176.2	88.0	572.3	43.9	0.0
2	568.2	568.2	261.9	36.4	142.7	87.4	528.5	39.7	0.0
3	608.1	608.1	262.8	35.7	184.0	84.8	567.3	40.8	0.0
23.4	605.9	605.9	282.4	40.3	150.4	94.6	567.7	38.2	0.0
5	638.1	638.1	301.5	43.3	154.7	98.1	597.4	40.6	0.0
6	606.0	605.9	297.2	42.1	129.2	98.2	566.7	39.3	0.0
7	599.9	599.9	300.7	42.8	112.9	105.4	561.8	38.0	0.0
8	591.6	591.6	280.0	45.6	121.1	106.5	553.2	38.4	0.0
9	572.6	572.6	308.5	40.0	91.0	102.7	542.2	30.4	0.0
10	595.5	595.5	296.2	41.7	112.1	109.1	559.1	36.4	0.0
11	579.0	579.0	283.6	39.9	113.5	105.9	542.9	36.1	0.0
12	608.2	608.2	262.8	38.7	161.0	107.9	570.4	37.8	0.0

(2) 前年同月比

単位：%

	総受託乳量 ①＝②＋⑨	販売乳量計 ②＝⑦＋⑧	飲用牛乳向 ③	はっ酵乳等向 ④	特定乳製品向 ⑤	生クリーム等向 ⑥	計画生産枠内 ⑦＝③＋④＋⑤＋⑥	チーズ向 ⑧	全乳 哺育向 ⑨
18年度	**97.5**	**97.5**	**95.5**	**116.2**	**93.2**	**106.4**	**97.3**	**102.5**	**87.5**
19年度	**99.3**	**99.3**	**96.8**	**106.0**	**96.5**	**107.8**	**98.7**	**111.9**	**95.0**
20年度	**99.1**	**99.1**	**98.3**	**94.0**	**94.0**	**108.0**	**98.2**	**116.4**	**99.4**
21年度	**99.4**	**99.4**	**94.5**	**101.7**	**110.2**	**96.8**	**99.4**	**100.2**	**100.0**
22年度	**96.7**	**96.7**	**96.8**	**99.7**	**88.4**	**107.0**	**96.1**	**106.0**	**45.4**
21. 4	99.2	99.2	96.1	103.4	103.6	106.8	100.3	83.8	100.0
5	99.0	99.0	95.0	102.3	104.0	108.3	99.9	86.7	100.0
6	99.3	99.3	96.1	100.7	107.1	102.4	100.1	87.4	100.0
7	100.1	100.1	94.0	98.4	118.8	101.4	101.1	85.2	100.0
8	100.1	100.1	91.8	98.5	125.8	95.0	100.5	93.1	100.0
9	100.8	100.8	93.5	102.0	139.6	92.0	101.3	92.9	100.0
10	99.8	99.8	95.2	103.0	114.2	92.9	99.2	109.7	100.0
11	99.7	99.7	93.5	104.8	116.1	92.4	98.9	112.8	100.0
12	99.1	99.1	93.7	104.0	106.8	95.6	98.4	110.1	100.0
1	98.6	98.6	94.2	104.4	103.6	91.7	97.4	120.5	100.0
2	98.8	98.8	94.4	101.2	105.6	91.1	97.5	121.5	100.0
3	98.8	98.8	96.8	98.3	101.7	94.1	98.1	111.5	100.0
22. 4	97.9	97.9	93.5	95.4	102.0	100.3	97.2	108.9	100.0
5	97.7	97.7	96.2	99.3	96.5	101.7	97.3	104.3	42.1
6	99.1	99.1	97.0	104.0	95.2	103.7	98.0	119.2	42.1
7	98.7	98.7	97.1	103.8	90.3	105.4	97.0	129.8	40.7
8	96.8	96.8	98.5	103.1	79.9	108.5	95.1	126.5	42.1
9	95.7	95.7	99.1	101.1	71.3	110.6	94.9	111.2	42.1
10	96.4	96.4	97.1	104.7	84.5	112.2	97.1	85.4	42.1
11	95.9	95.9	97.5	101.6	84.3	111.6	96.7	84.0	42.1
12	96.4	96.4	97.5	100.2	87.2	108.8	96.3	97.2	40.7
23. 1	96.4	96.4	96.2	98.5	87.8	112.0	95.6	107.5	42.1
2	96.9	96.9	97.7	99.0	84.9	114.4	96.2	107.0	42.1
3	92.7	92.7	93.9	85.7	89.4	95.9	92.2	101.4	27.2
23. 4	95.2	95.2	102.4	97.3	79.0	104.5	94.9	99.4	18.2
5	96.4	96.4	101.3	97.7	83.9	102.1	96.0	103.2	100.0
6	94.7	94.7	97.1	94.4	83.7	105.5	94.7	94.4	100.0
7	94.6	94.6	100.0	95.3	77.0	106.4	95.0	89.1	103.3
8	97.4	97.4	97.9	102.9	89.5	107.2	97.9	90.9	100.0
9	98.4	98.4	97.9	95.8	99.7	103.9	99.1	86.9	100.0
10	99.5	99.5	98.3	96.4	97.9	103.6	99.0	106.1	100.0
11	100.5	100.5	100.2	97.5	95.1	105.6	99.9	110.2	100.0
12	100.5	100.5	98.6	97.9	101.4	105.3	100.5	99.2	103.3

資料：中央酪農会議「用途別販売実績」

4. 生乳生産量及び用途別処理量の推移(全国)

単位:千ﾄﾝ、%

区分	生乳生産量	前年比	用途別処理量 牛乳等向け	前年比	うち業務用	前年比	乳製品向け	前年比	うちチーズ向け	前年比	うちクリーム等向け	前年比	その他	前年比
18年度	8,090.8	97.6	4,620.2	97.5	310.1	101.8	3,389.0	97.6	—	—	—	—	81.5	99.7
19年度	8,024.3	99.2	4,509.1	97.6	329.3	106.2	3,432.1	101.3	410.6	—	1,044.9	—	83.1	101.9
20年度	7,945.1	99.0	4,414.8	97.9	338.7	102.8	3,450.7	100.5	473.6	115.3	1,105.3	105.9	79.6	95.9
21年度	7,881.4	99.2	4,218.6	95.6	332.8	98.3	3,586.8	103.9	465.4	98.3	1,088.9	98.5	76.0	95.5
22年度	7,630.8	96.8	4,109.5	97.4	299.9	90.1	3,450.9	96.2	497.6	106.9	1,161.7	106.7	70.3	92.5
6	675.9	100.1	384.4	97.9	24.2	105.4	284.7	103.2	42.7	131.1	88.0	105.4	6.8	97.6
7	669.1	98.8	388.7	100.1	25.5	103.1	273.5	97.0	41.0	121.7	92.9	106.6	6.8	97.9
8	653.9	99.4	372.1	98.0	26.4	96.0	274.9	101.4	39.2	113.2	96.0	109.5	6.9	95.9
9	629.0	98.6	394.6	97.8	31.0	106.7	227.4	99.8	35.9	121.3	95.9	110.5	7.0	103.3
20.10	649.8	98.7	382.7	96.2	31.7	105.2	260.2	102.8	38.8	112.4	99.8	110.4	6.9	96.8
11	627.3	98.8	362.8	97.6	32.7	105.2	257.6	100.5	36.8	116.9	96.0	107.5	6.9	98.7
12	661.4	99.0	346.9	98.3	30.9	98.7	307.9	99.9	38.5	111.8	97.6	102.1	6.6	96.8
21. 1	675.1	99.1	350.6	98.9	28.3	107.1	318.4	99.6	36.6	106.9	85.3	102.8	6.1	90.9
2	618.2	96.1	335.3	96.1	28.8	110.6	277.1	96.1	32.8	94.8	85.1	101.6	5.8	89.2
3	690.7	99.0	347.2	96.1	28.2	98.0	337.2	102.4	38.7	86.6	95.7	105.9	6.3	92.2
21. 4	675.1	98.8	353.0	97.2	27.0	101.0	316.1	100.9	37.7	83.1	91.2	107.5	5.9	86.0
5	701.8	98.8	370.6	96.5	25.5	104.1	324.9	101.7	38.7	81.8	94.4	107.6	6.2	89.1
6	669.0	99.0	373.4	97.1	24.7	102.0	289.4	101.6	37.0	86.5	90.1	102.4	6.2	92.1
7	667.8	99.8	370.1	95.2	24.9	97.4	291.2	106.5	34.9	85.0	94.2	101.4	6.4	94.6
8	652.5	99.8	347.1	93.3	25.7	97.2	298.8	108.7	35.4	90.3	91.8	95.7	6.5	95.1
9	632.0	100.5	372.7	94.5	31.6	102.1	252.8	111.1	33.0	92.1	90.0	93.9	6.5	92.8
10	646.1	99.4	366.8	95.9	32.1	101.2	272.5	104.7	42.5	109.7	96.2	96.4	6.8	99.3
11	625.7	99.7	345.1	95.1	31.3	95.6	274.0	106.3	41.3	112.3	92.7	96.6	6.7	97.3
12	655.6	99.1	329.2	94.9	29.0	93.7	320.0	103.9	42.0	109.0	96.4	98.8	6.5	98.2
22. 1	664.0	98.4	333.5	95.1	26.8	94.7	324.4	101.9	43.5	118.9	81.6	95.6	6.1	99.7
2	609.7	98.6	318.4	95.0	25.6	88.8	285.4	103.0	39.1	119.3	77.7	91.3	5.9	101.8
3	682.0	98.7	337.3	96.8	28.7	102.5	338.5	100.7	40.3	104.2	91.0	95.2	6.2	100.1
22. 4	661.3	98.0	334.0	94.6	24.1	89.3	321.4	101.7	38.2	101.3	91.3	100.1	5.9	99.5
5	685.8	97.7	358.9	96.8	24.2	94.8	321.1	98.8	42.1	108.9	96.9	102.7	5.9	93.9
6	663.4	99.2	365.1	97.8	23.9	96.8	292.4	101.0	44.0	119.0	94.6	105.0	5.8	94.0
7	660.6	98.9	362.4	97.9	24.2	97.3	292.4	100.4	44.9	128.9	100.7	107.0	5.9	91.1
8	631.8	96.8	344.3	99.2	24.8	96.7	281.3	94.1	44.3	125.2	100.8	109.8	6.2	94.8
9	606.4	96.0	372.1	99.8	27.0	85.2	228.2	90.3	36.5	110.5	101.1	112.3	6.2	94.5
10	623.2	96.5	359.7	98.0	28.5	88.8	257.3	94.4	36.2	85.1	106.6	110.8	6.3	91.9
11	600.1	95.9	338.4	98.1	30.5	97.6	255.7	93.3	34.6	83.7	102.9	110.9	6.1	90.7
12	632.1	96.4	324.3	98.5	28.1	97.0	301.8	94.3	40.4	96.3	105.4	109.3	6.0	92.3
23. 1	641.5	96.6	323.6	96.8	22.6	84.4	312.4	96.5	48.0	110.4	89.1	108.1	5.4	88.9
2	591.5	97.0	312.6	98.0	22.0	86.2	273.5	96.0	43.6	111.3	87.7	111.8	5.3	90.8
3	633.2	92.8	314.2	93.2	19.9	69.4	313.5	92.6	44.8	111.3	84.6	92.9	5.4	88.2
23. 4	628.8	95.1	335.5	100.4	23.0	95.2	287.9	89.6	41.5	108.4	96.2	105.4	5.4	92.2
5	661.8	96.5	358.4	99.9	26.3	108.7	298.0	92.8	43.3	102.9	98.7	101.9	5.4	92.3
6	628.6	94.8	351.8	96.3	23.9	100.1	271.4	92.8	41.5	94.2	100.0	105.7	5.4	91.9
7	623.8	94.4	357.8	98.7	21.5	88.7	260.5	89.1	40.1	89.2	106.6	105.9	5.5	93.5
8	614.6	97.3	338.6	98.3	24.2	97.6	270.4	96.1	40.7	91.9	107.0	106.1	5.6	90.6
9	594.5	98.0	359.3	96.6	27.2	100.9	229.5	100.6	32.2	88.1	105.0	103.8	5.7	93.3
10	619.8	99.5	352.0	97.9	29.2	102.3	262.3	101.9	38.4	106.0	110.4	103.6	5.6	89.5
11	602.4	100.4	336.8	99.5	29.4	96.3	260.5	101.9	38.3	110.8	108.6	105.5	5.1	83.9

5. 都道府県別の生乳生産量

単位：千ﾄﾝ、%

	21年度計	前年比	22年度計	前年比	23年度4月	前年比	5月	前年比	6月	前年比	7月	前年比	8月	前年比	9月	前年比	10月	前年比	11月	前年比
北海道	3,932,171	100.6	3,897,155	99.1	323,368	99.8	336,125	98.5	327,964	96.7	330,363	96.5	325,838	99.1	313,005	99.2	322,112	101.4	310,328	101.9
青森	73,058	96.7	70,021	95.8	5,531	90.9	5,903	93.4	5,570	91.0	5,583	89.8	5,677	97.2	5,483	99.1	5,767	99.8	5,684	100.7
岩手	230,164	99.7	218,027	94.7	16,666	86.8	18,184	93.0	17,297	91.6	17,338	90.5	17,671	94.6	17,366	96.7	18,175	98.3	17,827	100.9
宮城	140,376	97.3	127,223	90.6	9,425	80.9	10,328	87.2	9,708	85.4	9,453	83.8	9,691	90.4	9,735	93.5	10,441	95.7	10,276	98.2
秋田	33,423	96.1	31,136	93.2	2,513	91.3	2,585	90.6	2,440	89.6	2,424	89.3	2,448	96.3	2,463	100.1	2,618	102.4	2,607	104.4
山形	84,180	96.2	78,276	93.0	6,381	90.2	6,552	89.8	6,032	86.4	5,853	85.2	5,968	92.5	5,746	93.9	6,230	99.7	5,992	99.0
福島	103,072	97.5	94,860	92.0	2,617	29.7	6,699	73.4	6,420	75.3	6,495	75.5	6,548	78.2	6,530	83.2	6,906	83.2	6,700	86.4
東北計	664,273	97.9	619,543	93.3	43,133	77.6	50,251	88.2	47,467	86.9	47,146	86.0	48,003	91.2	47,323	94.0	50,137	95.9	49,086	98.0
茨城	177,193	99.8	157,714	89.0	8,539	56.8	14,415	94.4	13,255	91.9	12,935	92.9	12,593	95.8	12,560	99.1	13,338	100.8	13,155	102.0
栃木	325,970	100.5	306,327	94.0	25,743	95.3	26,998	96.2	25,137	94.1	24,745	94.0	24,412	95.4	23,524	97.1	24,960	98.7	24,329	99.8
群馬	265,581	99.3	255,280	96.1	21,774	96.4	22,288	95.6	20,553	93.1	20,005	92.4	19,699	95.0	18,954	94.6	20,026	96.7	19,622	98.2
埼玉	79,384	96.8	73,617	92.7	6,311	94.0	6,543	95.1	5,902	90.3	5,732	89.6	5,629	93.5	5,164	93.5	5,578	95.8	5,453	96.9
千葉	261,918	97.5	251,135	95.9	21,114	94.3	21,761	95.6	20,047	93.6	19,352	91.4	19,029	93.3	18,371	93.0	19,561	95.0	19,173	95.7
東京	12,905	97.9	11,386	88.2	979	92.2	989	92.3	911	91.4	883	92.2	838	93.3	825	96.6	877	98.9	850	98.6
神奈川	56,678	92.2	52,735	93.0	4,478	91.5	4,503	89.7	4,122	87.9	3,974	86.8	3,689	87.4	3,465	87.7	3,687	89.6	3,730	92.9
山梨	19,476	104.9	20,527	105.4	1,728	101.5	1,914	108.6	1,852	105.8	1,956	108.7	1,886	110.7	1,899	111.2	1,818	110.3	1,764	102.6
静岡	100,832	97.3	99,267	98.4	8,679	98.2	8,830	97.3	8,180	95.9	7,944	95.4	7,724	96.3	7,465	100.1	7,935	99.0	7,915	101.6
関東計	1,299,937	98.7	1,227,988	94.5	99,345	90.1	108,241	95.6	99,959	93.3	97,526	92.8	95,499	94.8	92,227	95.9	97,780	97.5	95,991	98.6
新潟	65,728	96.5	61,383	93.4	5,171	93.7	5,307	94.0	4,895	90.2	4,635	85.8	4,543	89.9	4,388	92.3	4,605	91.3	4,443	94.4
富山	16,990	97.3	15,654	92.1	1,355	95.0	1,415	96.5	1,286	93.1	1,250	92.7	1,198	96.6	1,107	92.4	1,176	95.4	1,175	99.4
石川	24,492	93.3	23,037	94.1	2,015	95.4	2,074	96.2	1,884	92.6	1,768	89.1	1,706	96.9	1,651	97.2	1,763	97.5	1,756	98.9
福井	8,720	91.4	7,903	90.6	647	88.5	678	90.2	613	85.6	606	84.8	578	86.9	561	91.1	603	96.3	585	98.8
北陸計	115,930	95.5	107,977	93.1	9,188	93.9	9,474	94.6	8,678	90.8	8,259	87.4	8,025	92.0	7,707	93.2	8,147	93.5	7,959	96.4
長野	120,572	97.2	114,975	95.4	9,482	96.4	9,832	95.7	9,347	94.3	9,303	94.7	9,202	95.8	8,958	96.4	9,267	95.8	8,979	97.8
岐阜	52,549	97.2	50,191	95.5	4,201	92.3	4,272	93.8	3,959	92.0	3,909	92.6	3,859	96.3	3,707	94.4	3,892	94.7	3,809	96.2
愛知	217,275	96.9	203,988	93.9	17,847	96.2	18,275	96.8	16,635	94.5	15,987	95.3	15,236	95.3	15,073	98.9	16,346	98.4	16,087	99.3
三重	54,116	108.7	53,776	99.4	4,695	98.9	4,792	97.8	4,435	95.6	4,331	97.5	4,221	101.5	4,072	99.1	4,445	100.7	4,414	100.3
東海計	444,512	98.3	422,930	95.1	36,225	96.1	37,171	96.3	34,376	94.3	33,530	95.1	32,518	96.3	31,810	97.7	33,950	97.5	33,289	98.7
滋賀	24,688	96.5	24,039	97.4	2,084	96.3	2,101	97.9	1,863	92.8	1,937	93.1	1,985	97.9	1,827	100.8	1,877	99.2	1,856	98.1
京都	36,869	99.9	34,460	93.5	2,965	93.4	3,041	94.4	2,759	92.1	2,653	91.3	2,588	96.3	2,512	94.9	2,680	95.4	2,647	98.2
大阪	13,341	91.3	12,684	95.1	1,072	96.0	1,090	94.4	985	89.1	952	86.8	936	91.2	920	94.2	965	93.9	953	95.0
兵庫	113,963	95.2	107,581	94.4	9,167	93.1	9,291	93.2	8,406	90.5	8,147	87.2	8,016	90.5	7,768	92.9	8,049	93.4	7,959	96.7
奈良	29,140	96.6	27,846	95.6	2,358	94.1	2,417	93.8	2,242	91.0	2,254	91.6	2,208	95.6	2,139	97.8	2,242	99.6	2,212	102.5
和歌山	5,376	113.2	5,347	99.5	488	96.3	499	97.8	458	98.3	442	103.8	429	112.0	353	94.1	401	98.8	386	93.2
近畿計	223,377	96.4	211,957	94.9	18,134	93.9	18,439	94.2	16,713	91.2	16,385	89.5	16,162	93.5	15,519	94.8	16,214	95.4	16,013	97.7
鳥取	63,480	97.4	60,886	95.9	5,225	96.1	5,338	96.5	4,865	92.0	4,764	91.3	4,676	95.6	4,643	97.2	4,910	98.0	4,786	99.8
島根	62,553	98.1	60,090	96.1	5,238	96.6	5,469	99.7	5,025	95.5	4,954	96.5	4,843	101.8	4,713	103.1	4,940	102.1	4,779	102.4
岡山	108,710	95.7	103,947	95.6	8,951	95.9	9,214	96.0	8,383	93.2	8,062	91.3	7,876	94.8	7,797	96.1	8,279	97.0	8,119	98.1
広島	65,327	99.3	63,792	97.7	5,230	90.2	5,578	96.0	5,251	95.0	5,242	96.2	5,137	97.4	4,900	96.6	5,115	97.4	4,923	97.6
山口	20,858	92.6	20,460	98.1	1,744	94.7	1,808	94.9	1,657	96.6	1,609	93.5	1,575	96.1	1,512	95.5	1,583	94.7	1,540	95.6
中国計	320,928	97.0	309,175	96.3	26,388	94.8	27,407	96.7	25,181	94.0	24,631	93.5	24,107	96.9	23,565	97.7	24,827	98.1	24,147	99.0
徳島	40,552	95.0	38,733	95.5	3,386	95.9	3,440	95.8	3,108	93.2	2,939	90.3	2,816	88.4	2,742	93.7	2,843	91.1	2,902	96.3
香川	35,051	95.5	35,563	101.5	3,149	101.4	3,248	102.2	2,918	97.0	2,744	93.0	2,613	93.6	2,566	94.1	2,774	95.7	2,782	98.3
愛媛	45,016	98.3	42,179	93.7	3,623	93.1	3,680	93.9	3,353	92.6	3,251	92.5	3,200	97.0	3,193	99.5	3,358	97.6	3,227	97.6
高知	28,007	96.7	26,409	94.3	2,280	95.1	2,280	93.9	2,118	96.1	2,009	92.2	2,030	99.0	2,033	101.8	2,064	95.8	2,026	93.4
四国計	148,626	96.4	142,884	96.1	12,438	96.2	12,648	96.5	11,497	94.5	10,943	92.0	10,659	94.1	10,534	97.0	11,039	95.0	10,937	96.6
福岡	98,070	94.9	92,540	94.4	8,046	95.8	8,175	95.4	7,373	92.0	7,131	91.6	6,904	95.8	6,750	96.2	7,152	96.5	7,027	96.4
佐賀	23,855	91.5	21,981	92.1	1,821	87.9	1,832	87.0	1,642	83.6	1,565	83.3	1,524	90.0	1,468	90.4	1,566	88.7	1,561	91.1
長崎	57,064	96.9	53,883	94.4	4,633	92.9	4,878	96.1	4,525	96.3	4,224	95.3	4,226	101.2	4,123	103.6	4,372	99.7	4,230	102.4
熊本	244,138	99.1	240,281	98.4	21,112	98.1	21,494	97.4	19,676	96.7	19,182	96.3	18,864	99.5	18,678	101.0	19,728	101.3	19,270	101.7
大分	94,053	96.9	88,688	94.3	7,535	93.2	7,667	93.5	7,033	90.7	6,763	90.3	6,513	92.4	6,389	93.4	6,851	94.4	6,721	95.6
宮崎	95,162	97.9	78,367	82.4	7,214	87.5	7,471	95.8	6,973	108.9	6,984	113.7	6,829	117.8	6,554	116.5	6,976	115.1	6,901	115.9
鹿児島	90,720	99.5	87,542	96.5	7,808	95.8	8,030	97.4	7,186	96.0	6,872	96.2	6,678	100.8	6,680	103.2	6,773	100.1	6,798	100.5
九州計	703,062	97.6	663,282	94.3	58,169	94.7	59,547	96.0	54,408	96.0	52,721	96.2	51,538	100.1	50,642	101.2	53,418	100.6	52,508	101.3
都府県	3,920,645	97.9	3,705,736	94.5	303,020	90.5	323,178	94.5	298,279	92.7	291,141	92.1	286,511	95.2	279,327	96.7	295,512	97.5	289,930	98.8
沖縄	28,519	97.5	27,794	97.5	2,445	99.3	2,515	99.2	2,331	97.1	2,301	101.1	2,203	99.5	2,134	96.1	2,219	97.1	2,162	95.9
合計	7,881,335	99.2	7,630,685	96.8	628,833	95.1	661,818	96.5	628,574	94.8	623,805	94.4	614,552	97.3	594,466	98.0	619,843	99.5	602,420	100.4

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

6. 飲用牛乳等生産量の推移

単位：kl、%

区分	飲用牛乳合計		牛乳		うち業務用		うち学校給食用		加工乳・成分調整牛乳		うち業務用		うち成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳		乳酸菌飲料	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
18年度	**4,125,286**	**96.8**	**3,679,015**	**97.0**	**294,818**	**101.6**	**—**	**—**	**446,271**	**95.0**	**22,915**	**126.7**	**200,342**	**96.4**	**1,260,541**	**104.4**	**849,741**	**106.0**	**169,354**	**98.3**
19年度	**4,022,544**	**97.5**	**3,578,008**	**97.3**	**311,790**	**105.8**	**378,787**	**—**	**444,536**	**99.6**	**25,989**	**113.4**	**202,655**	**101.2**	**1,320,240**	**104.7**	**838,881**	**98.7**	**172,568**	**101.9**
20年度	**3,917,985**	**97.4**	**3,462,463**	**96.8**	**317,304**	**101.8**	**374,818**	**99.0**	**455,522**	**102.5**	**16,308**	**62.7**	**263,418**	**130.0**	**1,207,926**	**91.5**	**805,239**	**96.0**	**186,495**	**108.1**
21年度	**3,779,089**	**96.5**	**3,116,850**	**90.0**	**308,637**	**97.3**	**377,375**	**100.7**	**662,239**	**145.4**	**14,414**	**88.4**	**452,858**	**171.9**	**1,181,741**	**97.8**	**819,252**	**101.7**	**194,245**	**104.2**
22年度	**3,716,419**	**98.3**	**3,047,571**	**97.8**	**275,183**	**89.2**	**374,678**	**99.3**	**668,848**	**101.0**	**29,406**	**204.0**	**425,758**	**94.0**	**1,212,696**	**102.6**	**836,912**	**102.2**	**179,561**	**92.4**
21. 6	331,469	97.7	275,165	90.9	23,179	102.2	43,050	104.3	56,304	153.4	698	44.4	40,522	185.8	102,811	97.2	75,062	104.3	19,802	118.7
7	325,843	94.5	265,879	87.2	23,169	96.2	24,617	94.6	59,964	150.5	1,111	66.4	43,365	178.0	109,321	93.5	78,094	108.5	21,229	122.1
8	308,432	96.2	246,943	87.9	24,101	99.3	4,017	121.0	61,489	154.4	1,087	65.0	42,458	172.8	114,752	100.6	69,826	103.8	17,593	103.1
9	334,976	95.0	275,674	88.0	29,654	102.2	37,061	98.7	59,302	151.3	1,496	93.9	40,993	179.0	111,451	97.4	68,994	100.9	16,191	98.3
10	333,126	96.3	274,933	89.5	30,071	100.0	37,363	94.2	58,193	151.3	1,798	165.4	39,344	180.4	105,705	98.3	69,836	101.8	14,635	89.4
11	312,626	96.9	259,340	90.3	28,969	94.7	36,617	102.6	53,286	149.7	1,570	154.1	34,937	160.7	91,274	98.1	63,194	104.2	13,584	102.6
12	302,198	96.0	250,108	89.8	27,564	93.8	32,107	106.7	52,090	143.3	1,972	138.4	32,811	157.3	87,731	96.4	58,942	98.9	12,926	104.1
22. 1	299,540	96.6	247,251	90.7	25,149	96.3	30,821	98.8	52,289	139.7	949	111.4	34,005	153.1	87,536	101.5	61,042	97.6	12,986	91.9
2	289,039	96.8	239,950	90.9	23,132	88.1	38,325	102.5	49,089	141.9	1,030	117.8	33,109	158.2	81,669	98.4	59,930	97.9	12,570	87.5
3	302,466	98.2	248,545	94.7	26,551	104.0	27,814	110.9	53,921	118.5	1,607	160.5	35,663	123.4	93,447	102.4	69,064	100.9	15,326	91.4
22. 4	301,743	97.0	246,020	94.3	22,224	92.6	31,042	102.1	55,723	111.0	2,702	495.8	35,606	100.9	95,090	101.4	74,009	103.8	17,426	93.9
5	322,128	98.3	263,442	97.0	22,003	95.3	37,580	108.7	58,686	104.6	2,521	457.5	36,647	91.3	104,114	101.7	77,569	104.9	16,656	88.4
6	328,668	99.2	270,150	98.2	21,813	94.1	43,178	100.3	58,518	103.9	2,053	294.1	37,637	92.9	107,002	104.1	77,199	102.8	17,259	87.2
7	324,994	99.7	262,110	98.6	21,794	94.1	23,818	96.8	62,884	104.9	1,748	157.3	40,831	94.2	114,286	104.5	76,802	98.3	17,487	82.4
8	307,966	99.8	245,493	99.4	22,478	93.3	4,448	110.7	62,473	101.6	1,883	173.2	40,633	95.7	116,949	101.9	71,973	103.1	17,534	99.7
9	334,015	99.7	273,946	99.4	24,528	82.7	37,526	101.3	60,069	101.3	1,947	130.1	38,646	94.3	114,384	102.6	70,302	101.9	16,766	103.6
10	328,316	98.6	269,969	98.2	26,275	87.4	37,896	101.4	58,347	100.3	2,565	142.7	36,872	93.7	109,379	103.5	73,366	105.1	14,394	98.4
11	310,910	99.5	257,162	99.2	27,638	95.4	38,583	105.4	53,748	100.9	2,808	178.9	33,837	96.9	95,214	104.3	66,620	105.4	13,129	96.7
12	296,722	98.2	244,791	97.9	25,651	93.1	30,935	96.3	51,931	99.7	3,714	188.3	32,214	98.2	91,009	103.7	63,085	107.0	12,307	95.2
23. 1	290,020	96.7	239,117	96.5	20,959	83.4	30,222	96.5	50,903	97.4	2,620	276.1	32,673	95.8	90,167	103.0	65,246	106.8	12,953	99.8
2	284,284	98.4	236,254	98.5	20,987	90.7	35,972	93.6	48,030	97.8	2,330	226.2	30,210	90.9	85,907	105.4	65,300	109.0	12,120	96.4
3	286,653	94.8	239,117	96.2	18,833	70.9	23,478	84.4	47,536	88.2	2,515	156.5	29,952	84.0	89,195	95.4	55,441	80.3	11,530	75.2
23. 4	300,891	99.7	253,778	103.2	22,217	100.0	27,348	88.1	47,113	84.5	2,206	81.6	28,541	80.2	100,558	105.8	67,893	91.7	15,281	87.7
5	320,139	99.4	270,283	102.6	24,769	112.6	36,513	97.2	49,856	85.0	2,410	95.6	33,056	90.2	110,481	106.1	71,618	92.3	16,861	101.2
6	319,227	97.1	270,107	100.0	22,920	105.1	41,769	96.7	49,120	83.9	2,159	105.2	33,262	88.4	112,230	104.9	78,147	101.2	17,232	99.8
7	314,398	96.7	261,937	99.9	19,822	91.0	23,901	100.3	52,461	83.4	1,985	113.6	35,463	86.9	122,728	107.4	76,715	99.9	18,982	108.5
8	298,878	97.0	246,349	100.3	22,471	100.0	5,324	119.7	52,529	84.1	2,321	123.3	35,972	88.5	124,265	106.3	73,752	102.5	18,128	103.4
9	322,889	96.7	271,839	99.2	25,779	105.1	35,706	95.2	51,050	85.0	2,222	114.1	34,513	89.3	122,602	107.2	75,580	107.5	15,194	90.6
10	320,298	97.6	271,773	100.7	27,991	106.5	38,515	101.6	48,525	83.2	2,939	114.6	32,900	89.2	116,708	106.7	75,260	102.6	13,934	96.8
11	304,186	97.8	258,427	100.5	27,681	100.2	38,276	99.2	45,759	85.1	3,435	122.3	30,347	89.7	103,628	108.8	71,395	107.2	12,888	98.2

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

7. 主要乳製品生産量の動向

単位：ﾄﾝ、%

区分	バター	前年比	脱脂粉乳	前年比	クリーム	前年比	練乳類	前年比	全粉乳	前年比	チーズ	前年比	うち直消用ナチュラルチーズ	前年比	アイスクリーム	前年比	調整粉乳	前年比
18年度	**78,001**	**91.3**	**177,036**	**93.3**	**97,928**	**106.4**	**43,271**	**107.4**	**13,882**	**95.6**	**124,186**	**100.8**	**16,267**	**116.7**	**132**	**110.4**	**29,740**	**95.2**
19年度	**75,058**	**96.2**	**171,441**	**96.8**	**104,156**	**106.4**	**43,598**	**100.8**	**13,825**	**99.6**	**125,763**	**101.3**	**18,276**	**112.3**	**132**	**99.9**	**30,561**	**102.8**
20年度	**71,898**	**95.8**	**155,282**	**90.6**	**107,521**	**103.2**	**45,475**	**104.3**	**13,573**	**98.2**	**116,877**	**92.9**	**20,204**	**110.6**	**124**	**93.5**	**30,591**	**100.1**
21年度	**81,972**	**114.0**	**170,179**	**109.6**	**103,663**	**96.4**	**43,587**	**95.8**	**12,010**	**88.5**	**122,997**	**105.2**	**19,729**	**97.7**	**128**	**103.3**	**35,829**	**117.1**
22年度	**70,119**	**85.5**	**148,786**	**87.4**	**107,965**	**104.2**	**41,761**	**95.8**	**14,242**	**118.6**	**127,029**	**103.3**	**19,857**	**100.6**	**132**	**103.3**	**32,015**	**89.4**
21. 4	7,627	107.6	15,213	100.4	8,598	102.1	4,128	103.7	1,363	90.8	11,137	99.3	1,370	78.3	11	99.6	3,248	124.0
5	7,756	107.6	15,321	101.9	8,533	101.3	4,441	100.9	1,223	81.8	9,345	97.6	1,405	89.6	12	108.0	2,647	114.9
6	6,776	111.8	13,167	106.4	7,865	95.5	3,884	98.0	947	71.5	9,653	102.2	1,351	79.2	13	111.2	3,640	146.1
7	6,382	123.0	12,925	114.0	8,306	97.8	3,702	108.3	1,086	116.0	9,871	101.5	1,302	77.5	13	100.2	3,296	110.7
8	6,766	133.8	13,451	122.1	8,211	94.5	3,463	87.2	1,270	119.0	9,361	113.6	1,447	88.9	13	100.0	2,158	105.9
9	5,206	140.3	10,749	134.6	8,266	94.2	3,190	139.8	444	119.7	10,376	106.4	1,891	108.8	11	99.1	3,179	130.4
10	5,386	121.8	11,867	113.1	9,145	93.8	3,164	96.8	539	71.1	11,555	110.3	2,235	116.4	12	114.7	3,236	107.5
11	5,602	126.4	12,449	113.3	9,328	95.1	2,892	99.3	805	86.8	11,593	113.5	2,235	120.9	11	117.5	2,978	112.5
12	7,081	112.2	16,931	107.8	10,452	97.5	3,633	84.0	495	62.0	11,514	109.6	1,940	95.3	9	93.7	3,040	118.1
22. 1	8,215	104.4	16,571	106.1	8,037	94.7	3,991	87.3	1,499	85.5	8,929	102.0	1,616	105.6	6	95.4	2,872	99.4
2	6,736	106.5	14,051	107.3	7,939	93.9	3,289	78.7	1,268	98.3	8,927	98.1	1,324	94.3	7	88.7	2,460	125.5
3	8,440	102.4	17,482	105.5	8,983	97.1	3,810	89.5	1,073	79.4	10,737	108.8	1,614	115.7	10	102.2	3,075	116.3
22. 4	7,764	101.8	15,939	104.8	8,793	102.3	4,216	102.1	1,209	88.7	11,730	105.3	1,788	130.5	12	103.3	3,027	93.2
5	7,359	94.9	15,040	98.2	8,885	104.1	4,223	95.1	1,322	108.1	10,105	108.1	1,636	116.4	12	102.0	2,537	95.9
6	6,051	89.3	12,091	91.8	8,258	105.0	3,859	99.4	1,433	151.3	10,608	109.9	1,513	112.0	14	105.4	2,944	80.9
7	5,613	88.0	11,496	88.9	8,649	104.1	3,225	87.1	1,298	119.6	10,720	108.6	1,602	123.1	13	106.7	2,615	79.3
8	5,152	76.1	10,614	78.9	8,415	102.5	3,020	87.2	1,046	82.4	9,575	102.3	1,419	98.0	13	104.7	2,126	98.6
9	3,386	65.0	7,381	68.7	8,645	104.6	2,286	71.7	773	174.3	10,610	102.3	1,573	83.2	13	115.0	2,901	91.3
10	4,454	82.7	9,673	81.5	9,867	107.9	2,886	91.2	900	167.0	10,626	92.0	1,725	77.2	12	96.0	3,004	92.8
11	4,697	83.9	10,746	86.3	9,992	107.1	3,088	106.8	644	80.0	11,346	97.9	1,609	72.0	10	92.2	3,178	106.7
12	5,755	81.3	14,540	85.9	10,978	105.0	3,841	105.7	785	158.6	11,051	96.0	1,757	90.6	8	98.3	2,201	72.4
23. 1	7,141	86.9	14,198	85.7	8,571	106.7	4,237	106.2	1,665	111.0	9,717	108.8	1,925	119.1	7	121.1	2,133	74.3
2	5,566	82.6	11,632	82.8	8,512	107.2	3,772	114.7	1,477	116.5	10,139	113.6	1,674	126.5	8	107.3	2,848	115.7
3	7,180	85.1	15,435	88.3	8,400	93.5	3,109	81.6	1,691	157.6	10,802	100.6	1,636	101.4	10	95.5	2,499	81.3
23. 4	5,654	72.8	12,442	78.1	9,005	102.4	4,104	97.4	1,479	122.4	11,903	101.5	1,524	85.2	14	116.2	3,140	103.7
5	5,879	79.9	12,701	84.4	9,159	103.1	4,076	96.5	1,291	97.6	10,802	106.9	1,621	99.1	14	110.3	3,536	139.4
6	4,974	82.2	10,531	87.1	8,762	106.1	3,411	88.4	1,159	80.9	11,091	104.6	1,658	109.6	14	102.6	2,217	75.3
7	4,294	76.5	8,710	75.8	8,955	103.5	3,142	97.4	1,028	79.2	10,137	94.6	1,612	100.7	14	105.1	1,642	62.8
8	4,511	87.5	9,398	88.5	9,270	110.2	3,421	113.3	1,179	112.7	9,800	102.3	1,621	114.3	13	99.1	1,447	68.1
9	3,451	101.9	7,873	106.7	9,329	107.9	2,180	95.4	637	82.4	11,011	103.8	1,647	104.7	11	84.8	1,554	53.6
10	4,183	93.9	9,583	99.1	10,284	104.2	3,054	105.8	930	103.4	12,117	114.0	1,852	107.4	12	100.3	1,903	63.4
11	4,185	89.1	10,371	96.5	10,350	103.6	3,233	104.7	648	100.6	12,437	109.6	1,817	113.0	13	131.9	2,099	66.0

8. 乳製品需給の動向

(1) 脱脂粉乳

単位：千t、%

	生産量		輸入売渡し	消費量		過不足	在庫量 民間在庫量	
		前年比			前年比			前年比
18年度	**177.0**	**93.3**	**3.3**	**187.2**	**92.7**	**-7.3**	**68.3**	**90.8**
19年度	**171.4**	**96.8**	**0.0**	**197.0**	**105.3**	**-25.5**	**42.8**	**62.6**
20年度	**155.3**	**90.6**	**0.0**	**155.0**	**78.7**	**0.3**	**43.1**	**100.7**
21年度	**170.2**	**109.6**	**6.1**	**149.7**	**96.6**	**26.6**	**69.7**	**161.7**
22年度	**148.8**	**87.4**	**1.0**	**160.8**	**107.4**	**-11.0**	**58.7**	**84.2**
20.4	15.2	89.2	0.0	14.6	88.7	0.6	43.4	62.9
5	15.0	93.9	0.0	15.1	95.4	-0.1	43.3	62.7
6	12.4	88.4	0.0	13.6	76.5	-1.2	42.1	64.4
7	11.3	84.1	0.0	15.0	78.8	-3.7	38.4	64.3
8	11.0	89.3	0.0	14.4	79.5	-3.4	35.0	64.9
9	8.0	80.5	0.0	13.1	73.4	-5.1	29.9	65.0
10	10.5	92.7	0.0	12.8	75.4	-2.3	27.6	68.4
11	11.0	89.4	0.0	11.3	71.1	-0.3	27.2	74.2
12	15.7	92.3	0.0	12.4	79.7	3.3	30.5	80.1
1	15.5	89.9	0.0	9.9	71.0	5.6	36.1	87.2
2	13.1	90.6	0.0	10.5	79.2	2.6	38.7	90.9
3	16.6	101.3	0.0	12.2	75.4	4.3	43.1	100.7
21.4	15.2	100.3	0.4	12.2	83.6	3.4	46.5	107.2
5	15.3	101.9	2.2	12.5	82.5	5.1	51.6	119.1
6	13.2	106.4	2.2	12.4	91.8	2.9	54.4	129.3
7	12.9	114.0	1.4	14.2	94.5	0.1	54.5	142.0
8	13.5	122.1	0.0	13.0	89.9	0.5	55.0	157.2
9	10.7	134.6	0.0	12.2	93.3	-1.4	53.6	179.1
10	11.9	113.1	0.0	12.5	97.6	-0.6	52.9	191.9
11	12.4	113.3	0.0	11.5	101.8	0.9	53.8	197.6
12	16.9	107.8	0.0	12.4	100.3	4.5	58.3	191.0
22.1	16.6	106.8	0.0	9.8	98.8	6.8	65.1	180.1
2	14.1	107.3	0.0	11.5	109.7	2.5	67.7	174.6
3	17.5	105.5	0.0	15.5	126.4	2.0	69.7	161.7
22.4	15.9	104.8	0.0	13.8	113.3	2.1	71.8	154.5
5	15.0	98.2	0.0	12.1	96.8	3.0	74.8	145.1
6	12.1	91.8	0.1	12.9	103.7	-0.7	74.0	136.0
7	11.5	88.9	0.5	15.0	105.5	-3.1	71.0	130.2
8	10.6	78.9	0.0	13.4	103.3	-2.8	68.2	124.0
9	7.4	68.7	0.4	14.5	119.3	-6.8	61.4	114.7
10	9.7	81.5	0.0	13.5	107.8	-3.8	57.6	108.9
11	10.7	86.3	0.0	12.1	105.0	-1.3	56.3	104.6
12	14.5	85.9	0.0	13.5	108.5	1.0	57.3	98.3
23.1	14.2	85.7	0.0	10.9	111.3	3.3	60.7	93.2
2	11.6	82.8	0.0	11.7	101.6	-0.1	60.6	89.6
3	15.4	88.3	0.0	17.4	112.4	-1.9	58.7	84.2
23.4	12.4	78.1	0.0	13.0	93.8	-0.5	58.2	81.0
5	12.7	84.4	0.0	12.7	104.9	0.0	58.2	77.9
6	10.5	87.1	0.0	14.0	108.9	-3.5	54.7	73.9
7	8.7	75.8	0.0	13.1	87.0	-4.4	50.3	70.9
8	9.4	88.5	0.0	12.6	94.3	-3.2	47.1	69.1
9	7.9	106.7	0.0	12.1	83.3	-4.2	42.9	69.8
10	9.6	99.1	0.0	12.1	89.5	-2.5	40.4	70.1
11	10.4	96.5	0.0	11.7	96.4	-1.3	39.1	69.4

注）19年1月分以降は牛乳乳製品統計（調査対象が拡大しているため、データの連続性に注意されたい）。

(2) バター

単位：千t、%

	生産量		輸入売渡し	消費量		過不足	在庫量 民間在庫量	
		前年比			前年比			前年比
18年度	78.0	91.3	3.4	89.6	105.9	-8.1	22.9	73.8
19年度	75.1	96.2	12.2	91.1	101.8	-3.7	19.2	83.8
20年度	71.9	95.8	14.5	77.5	85.0	8.9	28.1	146.1
21年度	82.0	114.0	0.0	77.5	100.0	4.5	32.6	116.0
22年度	70.1	85.5	1.6	83.7	108.0	-12.0	20.6	63.3
20.4	7.1	92.6	0.2	7.2	89.3	0.1	19.3	84.5
5	7.2	97.9	0.7	6.7	91.9	1.2	20.5	88.5
6	6.1	96.5	0.6	6.8	95.7	-0.1	20.4	87.0
7	5.2	88.0	0.8	6.6	87.8	-0.5	19.9	87.2
8	5.1	92.3	2.5	6.2	86.9	1.3	21.2	95.7
9	3.7	93.4	3.7	6.9	91.8	0.5	21.7	107.6
10	4.4	93.5	2.0	6.4	83.2	0.0	21.7	125.3
11	4.4	90.9	0.3	6.2	71.9	-1.5	20.3	132.2
12	6.3	95.7	2.3	7.7	84.4	0.9	21.2	152.6
1	7.9	97.5	1.3	5.0	82.4	4.2	25.4	140.4
2	6.3	95.2	0.0	5.0	68.8	1.3	26.7	139.7
3	8.2	109.6	0.0	6.9	89.3	1.4	28.1	146.1
21.4	7.6	107.5	0.0	6.1	84.9	1.5	29.6	153.4
5	7.8	107.6	0.0	5.1	76.4	2.7	32.3	157.1
6	6.8	111.8	0.0	5.2	77.5	1.5	33.8	165.3
7	6.4	123.0	0.0	6.2	93.5	0.2	34.0	171.0
8	6.8	133.8	0.0	5.7	92.4	1.0	35.0	165.4
9	5.2	140.3	0.0	5.9	85.8	-0.7	34.3	158.1
10	5.4	121.8	0.0	6.8	105.2	-1.4	32.9	151.7
11	5.6	126.4	0.0	7.2	116.2	-1.6	31.3	154.7
12	7.1	112.2	0.0	8.8	114.4	-1.7	29.6	139.6
22.1	8.2	104.6	0.0	5.2	104.3	3.0	32.6	128.7
2	6.7	106.5	0.0	6.6	132.7	0.1	32.8	122.7
3	8.4	102.4	0.0	8.7	125.9	-0.2	32.6	116.0
22.4	7.8	101.8	0.0	7.8	127.9	0.0	32.5	109.9
5	7.4	94.9	0.0	5.8	113.6	1.6	34.1	105.7
6	6.1	89.3	0.1	6.0	114.9	0.1	34.2	101.2
7	5.6	88.0	0.2	6.7	109.2	-0.9	33.3	97.9
8	5.2	76.1	0.4	6.4	110.7	-0.8	32.5	92.9
9	3.4	65.0	0.6	6.6	111.7	-2.7	29.9	87.0
10	4.5	82.7	0.2	7.2	106.6	-2.5	27.3	83.0
11	4.7	83.9	0.0	7.7	106.3	-2.9	24.4	77.8
12	5.8	81.3	0.0	9.2	104.2	-3.4	21.0	71.0
23.1	7.1	86.9	0.0	5.6	109.2	1.5	22.6	69.1
2	5.6	82.6	0.0	7.0	105.8	-1.4	21.1	64.5
3	7.2	85.1	0.0	7.7	89.0	-0.5	20.6	63.3
23.4	5.7	72.8	0.0	6.9	88.8	-1.3	19.3	59.5
5	5.9	79.9	2.3	6.9	119.3	1.3	20.6	60.5
6	5.0	82.2	2.5	6.8	113.2	0.6	21.2	62.1
7	4.3	76.5	1.7	6.3	93.8	-0.3	21.0	62.9
8	4.5	87.5	1.1	5.6	87.2	0.0	21.0	64.5
9	3.5	101.9	1.9	6.0	90.1	-0.6	20.3	68.1
10	4.2	93.9	2.0	6.9	95.1	-0.7	19.7	72.0
11	4.2	89.1	2.1	7.4	96.8	-1.1	18.6	76.1

注1）うち在庫対策実施量は、計画生産上実施する特別対策数量に係る消費量。
注2）推定期末在庫量は、18年12月分以前は農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ。

参考（品目別バター在庫量）								
合　計		業務用 バラ		業務用 その他		家庭用	
	前年比		前年比		前年比		前年比
21.3	72.7	16.2	72.5	4.1	71.7	1.0	81.4
17.9	83.7	12.2	75.4	4.4	107.8	1.2	118.7
26.5	148.2	19.9	163.4	5.1	114.5	1.4	118.3
30.8	116.3	24.3	122.0	5.0	98.4	1.4	100.1
19.9	64.5	14.0	57.6	4.7	93.3	1.2	82.0
17.8	83.9	11.9	74.5	4.5	110.4	1.4	122.6
18.9	88.1	12.2	78.3	5.0	108.7	1.6	137.0
19.0	87.5	12.1	78.6	5.3	103.5	1.5	134.6
18.7	88.2	11.8	81.3	5.5	96.8	1.4	135.5
20.0	97.0	12.9	95.1	5.5	95.0	1.6	128.1
20.6	109.3	14.3	114.4	4.7	91.0	1.7	133.2
20.7	127.8	14.5	140.4	4.4	95.3	1.9	141.7
19.3	133.8	13.5	146.8	3.8	99.2	2.0	141.7
20.2	154.5	15.4	174.5	3.5	109.8	1.3	121.6
24.1	142.0	17.3	154.9	4.8	114.9	1.9	122.2
25.3	141.1	18.3	151.9	5.2	111.8	1.7	146.1
26.5	148.2	19.9	163.4	5.1	114.5	1.4	118.3
28.2	158.6	22.0	184.7	5.0	112.5	1.1	82.1
30.7	162.8	24.1	197.2	5.5	109.5	1.1	69.7
32.2	169.7	25.0	206.9	5.7	106.9	1.4	93.8
32.5	174.0	25.4	215.9	5.6	102.7	1.5	103.1
33.5	167.6	25.8	200.1	6.0	108.9	1.7	106.5
32.9	159.7	25.7	180.0	5.6	119.9	1.6	97.5
31.6	152.5	24.7	170.5	5.3	120.3	1.7	89.6
30.0	155.6	23.5	173.3	4.8	126.8	1.8	89.5
28.3	140.2	23.1	150.2	3.9	113.7	1.2	93.9
31.1	129.0	24.3	140.2	4.8	98.3	2.1	107.6
31.1	123.1	24.8	135.1	4.9	94.4	1.4	81.9
30.8	116.3	24.3	122.0	5.0	98.4	1.4	100.1
30.8	109.2	24.5	111.4	4.6	91.6	1.6	144.1
32.3	105.3	25.1	104.5	5.5	99.8	1.7	147.6
32.6	101.3	24.8	99.2	6.1	106.0	1.7	118.6
31.9	98.2	23.9	94.1	6.2	111.0	1.8	121.2
31.4	93.6	23.1	89.3	6.3	104.8	2.0	119.4
28.9	87.9	21.7	84.4	5.4	96.9	1.8	112.2
26.5	84.0	19.9	80.7	4.9	93.3	1.7	102.3
23.7	79.1	18.0	76.5	4.0	83.8	1.8	100.7
20.5	72.3	16.2	70.2	3.1	78.4	1.1	91.7
21.9	70.5	15.7	64.6	4.4	92.0	1.9	90.6
20.5	65.9	14.7	59.2	4.4	88.9	1.5	102.9
19.9	64.5	14.0	57.6	4.7	93.3	1.2	82.0
18.6	60.5	13.1	53.4	4.4	95.3	1.1	70.6
19.9	61.5	13.9	55.2	4.8	86.9	1.2	71.1
20.6	63.1	14.6	58.8	4.9	80.1	1.1	65.1
20.4	64.0	14.5	60.9	4.6	74.3	1.2	69.0
20.5	65.4	14.4	62.6	4.8	75.8	1.3	64.4
19.9	68.9	14.5	66.6	4.2	78.5	1.2	67.7
19.3	72.8	13.9	69.6	3.9	80.3	1.5	88.8
18.3	76.9	13.2	73.3	3.5	87.1	1.6	90.5

資料：農畜産業振興機構、日本乳業協会調べ。
注1）国内乳業メーカー等１４者計。
注2）数値は月末在庫量。
注3）業務用のその他は、プリント、シート、ポーション等。
注4）家庭用は贈答用含む。

9. 主要乳製品の価格動向（農水省生産局）

単位：円、%

区　分	バター（原料もの）		脱脂粉乳		全脂加糖練乳		脱脂加糖練乳		全粉乳	
	価格（1kg）	前　年　比	価格（25kg）	前　年　比	価格（24.5kg）	前　年　比	価格（25.5kg）	前　年　比	価格（25kg）	前　年　比
18年度平均	**945**	**99.7**	**13,017**	**98.9**	**8,582**	**100.8**	**7,913**	**100.8**	**19,398**	**99.8**
19年度平均	**966**	**102.2**	**13,162**	**101.1**	**8,663**	**100.9**	**7,976**	**100.8**	**19,468**	**100.4**
20年度平均	**1,135**	**117.5**	**14,785**	**112.3**	**8,909**	**102.8**	**8,297**	**104.0**	**20,975**	**107.7**
21年度平均	**1,118**	**98.5**	**15,054**	**101.8**	**8,902**	**99.9**	**8,355**	**100.7**	**21,482**	**102.4**
22年度平均	**1,054**	**94.3**	**14,643**	**97.3**	**8,830**	**99.2**	**8,337**	**99.8**	**21,343**	**99.4**
20. 6	1,091	115.4	14,646	112.3	8,888	102.9	8,216	103.6	20,597	106.2
7	1,124	118.8	14,697	112.6	8,889	102.9	8,227	103.6	20,692	106.7
8	1,136	119.6	14,769	113.1	8,906	103.1	8,289	104.4	20,960	108.0
9	1,143	119.6	14,831	113.4	8,924	103.0	8,332	104.3	21,077	108.5
10	1,154	119.6	14,951	113.8	8,924	102.8	8,334	104.2	21,132	108.8
11	1,162	120.0	14,953	113.7	8,924	102.8	8,334	104.2	21,137	108.8
12	1,163	119.0	14,982	113.0	8,924	102.8	8,334	104.2	21,152	108.5
1	1,164	118.3	14,994	112.7	8,924	102.8	8,334	104.2	21,194	108.6
2	1,176	118.2	15,033	112.8	8,924	102.8	8,369	104.5	21,400	109.3
3	1,177	115.8	15,160	112.3	8,979	103.2	8,430	104.6	21,512	108.8
21. 4	1,178	111.1	15,226	108.0	8,982	101.6	8,411	103.2	21,674	106.6
5	1,173	109.2	15,254	106.6	8,979	101.3	8,411	102.4	21,580	105.3
6	1,158	106.1	15,241	104.1	8,962	100.8	8,389	102.1	21,625	105.0
7	1,164	103.6	15,172	103.2	8,953	100.7	8,389	102.0	21,597	104.4
8	1,131	99.6	15,030	101.8	8,911	100.1	8,389	101.2	21,593	103.0
9	1,114	97.5	14,949	100.8	8,886	99.6	8,339	100.1	21,534	102.2
10	1,102	95.5	14,943	99.9	8,870	99.4	8,339	100.1	21,391	101.2
11	1,085	93.4	14,931	99.9	8,843	99.1	8,318	99.8	21,366	101.1
12	1,086	93.4	15,005	100.2	8,859	99.3	8,318	99.8	21,337	100.9
22. 1	1,081	92.9	14,981	99.9	8,859	99.3	8,318	99.8	21,386	100.9
2	1,073	91.2	14,955	99.5	8,859	99.3	8,318	99.4	21,371	99.9
3	1,074	91.2	14,957	98.7	8,863	98.7	8,318	98.7	21,331	99.2
22 .4	1,060	90.0	14,922	98.0	8,870	98.8	8,331	99.0	21,365	98.6
5	1,057	90.1	14,884	97.6	8,844	98.5	8,331	99.0	21,363	99.0
6	1,051	90.8	14,751	96.8	8,843	98.7	8,331	99.3	21,364	98.8
7	1,049	90.1	14,656	96.6	8,816	98.5	8,331	99.3	21,360	98.9
8	1,049	92.7	14,610	97.2	8,817	98.9	8,318	99.2	21,336	98.8
9	1,050	94.3	14,593	97.6	8,816	99.2	8,331	99.9	21,342	99.1
10	1,050	95.3	14,568	97.5	8,816	99.4	8,331	99.9	21,300	99.6
11	1,050	96.8	14,571	97.6	8,817	99.7	8,331	100.2	21,314	99.8
12	1,051	96.8	14,574	97.1	8,816	99.5	8,331	100.2	21,341	100.0
23. 1	1,062	98.2	14,564	97.2	8,816	99.5	8,331	100.2	21,334	99.8
2	1,057	98.5	14,512	97.0	8,817	99.5	8,331	100.2	21,334	99.8
3	1,065	99.2	14,515	97.0	8,870	100.1	8,419	101.2	21,361	100.1
23. 4	1,069	100.8	14,584	97.7	8,950	100.9	8,507	102.1	21,353	99.9
5	1,077	101.9	14,641	98.4	8,998	101.7	8,547	102.6	21,353	100.0
6	1,087	103.4	14,701	99.7	9,062	102.5	8,585	103.0	21,351	99.9
7	1,094	104.3	14,736	100.5	9,105	103.3	8,608	103.3	21,364	100.0
8	1,110	105.8	14,864	101.7	9,186	104.2	8,642	103.9	21,357	100.1
9	1,120	106.7	14,987	102.7	9,196	104.3	8,646	103.8	21,408	100.3
10	1,129	107.5	15,085	103.5	9,196	104.3	8,646	103.8	21,441	100.7
11	1,133	107.9	15,140	103.9	9,196	104.3	8,646	103.8	21,486	100.8

注）価格は大口需要者向け販売価格である。

10. 乳製品の輸入状況(平成23年11月)

区　分	生乳換算率	平成23年11月単月					CIF平均単価 円／kg	23年11月累計				CIF平均単価 円／kg
		輸入量 (トン)	輸入金額 (千円)	生乳換算 (トン)	前月比 (%)	前月比 (%)	下段前年	輸入量 (トン)	輸入金額 (千円)	生乳換算 (トン)	前月比 (%)	下段前年
脱脂粉乳(学乳)	6.5	226,238	70,792	1,471	—	185.3	312.9 286.6	1,685	562,954	10,951	97.8	334.1 295.8
脱脂粉乳(飼料)	6.5	2,063	516,063	13,411	106.3	102.8	271.9 210.1	20,507	5,238,393	133,295	90.6	255.4 224.9
脱脂粉乳(その他)	6.5	147	70,251	956	78.6	94.2	477.8 254.3	2,862	864,946	18,604	135.9	302.2 302.8
全脂粉乳	9.1	3	3,536	24	55.9	74.7	1,359.0 3,233.2	42	116,254	379	114.6	2789.3 2924.4
全脂無糖練乳	3	7	3,772	22	3.5	6.1	504.6 337.9	1,081	497,067	3,244	83.2	459.6 388.7
全脂加糖練乳	2.79	0	0	0	—	—	— 587.2	8	4614	22	184.6	593.8 618.3
ホエイ	3.4	4,783	919,695	16,262	116.0	90.3	192.3 167.0	51,033	9,716,199	173,513	97.6	190.4 178.6
バター	12.34	49	31,595	599	195.6	119.3	651.4 611.8	385	297,501	4,753	100.4	772.3 618.9
ナチュラルチーズ	12.65	18,459	7,487,450	233,503	100.4	117.5	405.6 407.2	184,066	73,377,881	2,328,435	107.6	398.6 399.2
プロセスチーズ	11.29	953	630,859	10,757	87.9	153.3	662.1 668.1	9,149	6,126,558	103,296	107.2	669.6 681.5
アイスクリーム	2.5	682	180,790	1,705	94.8	84.1	265.1 312.1	7,400	2,286,507	18,500	99.9	309.0 319.5
乳　糖	3.24	5,599	838,697	18,140	106.4	85.1	149.8 104.2	64,119	7,912,768	207,745	97.1	123.4 107.1
ココア調製品(加糖のもの)	8	2,321	458,996	18,568	80.0	84.4	197.8 166.2	23.131	4,195,250	185,051	89.6	181.4 163.2
ココア調製品(無糖のもの)	8	3,193	1,215,553	25,543	72.6	110.4	380.7 371.2	32,946	12,832,715	263,565	91.7	389.5 372.0
調製食用脂	10.54	1,273	530,283	13,419	127.7	125.4	416.5 426.7	13,897	6,162,815	146,472	108.3	443.5 367.3
調整食用脂(低脂肪乳)	4.52	271	89,345	1,227	68.3	153.4	329.2 329.3	3,543	1,208,652	16,016	105.6	341.1 309.7
粉乳調製品(ベーカリー製品用)	1.62	531	61,051	860	133.8	131.3	115.0 101.6	4,584	522,333	7,426	96.6	113.9 107.7
粉乳調製品(その他)	1.62	113,455	2,006,639	21,797	93.1	109.0	149.1 131.5	147,718	22,039,501	239,303	105.9	149.2 143.0
カゼイン	3.24	1,223	1,116,433	3,964	106.7	121.6	912.6 824.1	13,184	11,214,919	42,717	98,2	850.6 809.0
合　計		55,238	16,276,800	382,227	97.8	111.3		581.341	165,177,827	3,903,287	103.4	

作成:社団法人中央酪農会議
資料:「日本貿易統計」
注1) 生乳換算率は、調製食用脂及びココア調製品の成分が一様でないこと、ならびに一応の前提のもとに本会議が推定し、固定化して使用している。
注2) 対前年比は、生乳換算ベースで行っている。

11. 粗飼料の輸入状況(平成23年11月)

区　分	平成23年11月単月				CIF平均単価 円/kg 中段前月 下段前年	平成23年11月累計			CIF平均単価 円/kg 中段前年同期
	輸入量 (ﾄﾝ)	輸入金額 (千円)	前月比 (%)	前年比 (%)		輸入量 (ﾄﾝ)	輸入金額 (千円)	前年比 (%)	
アルファルファ ヘイ・キューブ (1214.90-010)	19,490	608,773	114.8	94.1	31.2 30.1 24.2	214,629	5,842,975	90.9	27.2 25.7
アルファルファ ヘイ・ペレット (1214.10-000)	3,371	109,114	65.2	47.8	32.4 32.3 29.3	98,171	2,879,205	91.8	29.3 30.3
ビートパルプ・ペレット (2303.20-000)	7,492	170,534	83.3	19.8	22.8 22.2 21.7	319,305	7,033,101	92.7	22.0 23.4
稲わら (1213.00-000)	37,329	988,327	133.7	120.4	26.5 26.1 22.0	333,073	8,496,746	115.9	25.5 23.4
その他牧草 (1214.90-090)	173,614	5,432,938	111.0	102.9	31.3 30.7 28.7	1,833,384	56,142,270	100.6	30.6 30.3
ふすま (2302.30-000)	1,825	46,591	20.3	26.6	25.5 17.9 16.6	91,014	1,770,229	103.6	19.5 18.7
綿実 (1207.20-000)	7,940	222,289	83.1	84.7	28.0 26.2 28.9	101,570	2,746,244	93.9	27.0 31.0

資料:日本貿易統計
注) 前月比と前年比は数量ベースである。

12. 家計消費の動向(全国・1人当たり)

歴年・月	牛乳				ヨーグルト		粉ミルク				バター				チーズ			
	金額		数量		金額		金額		数量		金額		数量		金額		数量	
	(円)	前年比%	(200cc,本)	前年比%	(円)	前年比%	(円)	前年比%	(g)	前年比%	(円)	前年比%	(g)	前年比%	(円)	前年比%	(g)	前年比%
18年	**5,617**	**94.8**	**147.6**	**96.2**	**2,527**	**99.4**	**313.5**	**95.1**	**181.1**	**94.9**	**217.9**	**103.4**	**158.4**	**103.5**	**997.0**	**102.8**	**731.3**	**100.8**
19年	**5,454**	**97.1**	**144.1**	**97.7**	**2,535**	**100.3**	**274.3**	**87.5**	**150.1**	**82.8**	**237.7**	**109.1**	**161.5**	**102.0**	**1,085.8**	**108.9**	**768.1**	**105.0**
20年	**5,254**	**96.3**	**135.9**	**94.3**	**2,503**	**98.7**	**271.5**	**99.0**	**147.3**	**98.2**	**255.8**	**107.6**	**142.5**	**88.2**	**1,195.7**	**110.1**	**714.0**	**93.0**
21年	**5,359**	**102.0**	**138.0**	**101.5**	**2,635**	**105.3**	**262.9**	**96.8**	**142.2**	**96.6**	**275.1**	**107.5**	**158.4**	**111.1**	**1,307.5**	**109.3**	**800.5**	**112.1**
22年	**5,205**	**97.1**	**136.8**	**99.1**	**2,754**	**104.5**	**238.3**	**90.7**	**127.6**	**89.7**	**279.1**	**101.5**	**167.4**	**105.7**	**1,313.1**	**100.4**	**836.4**	**104.5**
21.6	455	100.5	11.3	98.7	235.4	105.4	19.6	93.0	10.0	94.5	19.9	93.1	11.6	103.5	103.2	113.4	61.1	103.9
7	479	100.4	12.2	98.7	241.5	107.5	17.7	98.8	9.6	107.8	19.6	113.7	11.6	124.9	96.5	113.5	58.8	114.4
8	487	102.1	12.3	97.9	223.2	107.8	20.6	76.0	11.6	88.7	17.7	108.9	10.0	115.9	100.6	110.5	60.3	112.4
9	467	100.9	12.1	101.2	220.0	105.3	27.7	135.2	14.8	102.9	21.6	122.6	12.3	127.5	103.2	109.2	64.2	117.8
10	472	107.2	11.9	103.0	220.3	105.9	23.5	98.0	11.6	92.9	22.6	111.8	13.2	125.0	110.0	111.1	70.6	119.1
11	443	107.6	11.4	109.1	206.5	106.6	22.3	102.1	12.6	103.3	27.1	134.2	15.5	138.0	113.9	101.5	68.4	105.1
12	453	101.1	11.7	102.8	202.9	104.3	24.8	95.7	14.2	108.0	28.4	112.1	16.8	116.3	133.5	106.0	78.1	108.7
22.1	406	106.2	10.8	105.2	193.5	103.9	23.3	102.4	12.9	98.5	21.0	111.2	11.3	103.9	102.9	101.0	66.0	111.9
2	391	101.5	10.2	99.9	196.8	102.7	20.7	97.6	11.7	109.8	26.2	105.9	14.9	107.7	106.8	107.5	69.6	124.4
3	421	99.0	11.0	105.3	228.8	101.5	20.4	80.3	9.4	71.2	26.2	103.2	15.5	107.4	118.1	110.3	73.8	113.6
22.4	420	96.6	10.6	93.8	237.2	102.3	16.5	75.5	9.7	83.9	22.0	105.3	12.9	105.9	111.0	103.4	69.9	111.5
5	444	98.4	11.1	94.3	245.0	104.4	17.5	86.3	9.4	76.8	22.7	95.2	13.9	103.0	110.4	99.2	68.3	102.1
6	457	100.3	12.1	107.0	247.9	105.3	15.5	79.2	6.5	64.9	21.7	108.8	12.6	109.0	103.6	100.3	65.7	107.5
7	474	99.0	12.8	104.9	243.7	100.9	17.8	100.6	9.7	100.6	17.8	90.7	10.7	92.3	96.4	100.0	61.5	104.5
8	498	102.1	13.3	108.5	234.6	105.1	17.2	83.1	9.7	83.6	18.1	102.1	11.0	110.0	97.4	96.8	63.8	105.7
9	468	100.2	12.5	103.5	239.2	108.7	17.5	63.0	8.4	56.7	21.0	97.3	12.6	103.0	105.8	102.5	66.3	103.3
10	450	95.5	12.0	100.6	233.7	106.1	20.1	85.2	12.6	108.7	25.6	113.2	15.5	117.5	114.2	103.9	72.8	103.1
11	417	94.1	10.8	94.8	219.1	106.1	23.0	103.2	13.3	105.5	25.2	93.2	15.5	100.3	117.5	103.2	75.4	110.3
12	431	95.3	11.0	94.1	214.6	105.8	22.7	91.5	14.0	98.4	28.2	99.5	16.6	98.7	136.7	102.4	84.7	108.6
23.1	377	92.9	10.1	93.3	210.4	108.7	22.7	97.5	10.7	82.8	21.8	103.4	13.3	117.5	103.6	100.6	69.5	105.2
2	363	93.0	9.8	95.3	214.6	109.0	19.4	93.8	8.4	72.2	28.2	107.4	16.8	113.0	107.4	100.6	67.0	96.3
3	405	96.2	10.7	97.5	214.2	93.6	28.5	139.7	15.2	162.1	26.9	102.5	15.9	102.1	109.1	92.3	71.5	96.9
23.4	404	96.1	10.3	96.8	224.3	94.5	16.2	98.0	8.7	90.0	22.7	102.9	13.9	107.5	109.1	98.3	69.3	99.1
5	423	95.3	10.8	98.0	253.4	103.4	15.2	87.0	8.7	93.1	22.0	97.1	13.3	95.3	116.5	105.6	74.8	109.5
6	417	91.4	11.2	92.6	249.5	100.7	19.4	125.0	8.1	125.0	20.4	94.0	12.0	94.9	109.1	105.3	66.3	101.0
7	461	97.3	12.5	97.2	252.9	103.8	16.2	91.2	8.4	86.9	17.9	100.3	10.4	97.3	104.9	108.7	66.6	108.2
8	461	92.7	11.9	89.6	245.8	104.8	17.2	100.3	8.8	90.3	21.1	116.4	12.3	112.1	106.2	109.0	68.5	107.5
9	439	93.9	11.6	92.5	245.5	102.6	20.1	115.2	11.4	135.1	21.8	103.4	12.3	97.8	112.0	105.8	73.4	110.6
10	438	97.3	11.1	92.5	247.1	105.7	19.2	95.5	10.7	84.9	24.0	94.0	13.6	87.8	114.6	100.3	76.6	105.2
11	409	98.2	10.9	100.8	236.2	107.8	19.2	83.6	9.4	71.2	24.1	95.5	12.4	79.7	118.2	100.7	75.9	100.7

参　考

歴年・月	牛肉				米(うるち米)				生鮮野菜				マーガリン				消費支出		食料費	
	金額		数量		金額		数量		金額		数量		金額		数量		総額		金額	
	(円)	前年比%	(g)	前年比%	(円)	前年比%	(g)	前年比%	(円)	前年比%	(g)	前年比%	(円)	前年比%	(g)	前年比%	(円)	前年比%	(円)	前年比%
18年	**6,612**	**99.1**	**2,192**	**97.7**	**9,787**	**96.1**	**26.9**	**95.9**	**19,967**	**100.4**	**55,176**	**99.1**	**240.8**	**99.9**	**437.5**	**97.5**	**1,122,979**	**99.1**	**283,971**	**100.2**
19年	**6,650**	**100.6**	**2,192**	**100.0**	**9,834**	**100.5**	**27.4**	**102.0**	**20,506**	**102.7**	**56,624**	**102.6**	**247.2**	**102.7**	**449.8**	**102.8**	**1,143,295**	**101.8**	**287,547**	**101.3**
20年	**6,438**	**96.8**	**2,150**	**98.1**	**9,919**	**100.9**	**28.0**	**102.3**	**20,414**	**99.5**	**57,223**	**101.1**	**282.7**	**114.4**	**447.6**	**99.5**	**1,131,187**	**98.9**	**288,863**	**100.5**
21年	**6,434**	**99.9**	**2,304**	**107.2**	**9,760**	**98.4**	**27.4**	**97.9**	**20,591**	**100.9**	**58,502**	**102.2**	**313.8**	**111.0**	**448.2**	**100.2**	**1,130,603**	**99.9**	**288,661**	**99.9**
22年	**6,118**	**95.1**	**2,233**	**96.9**	**9,223**	**94.5**	**27.1**	**98.7**	**21,340**	**103.6**	**55,109**	**94.2**	**277.8**	**88.5**	**400.2**	**89.3**	**1,118,130**	**98.9**	**285,534**	**98.9**
21.6	492	97.7	175	102.5	723	95.8	1.95	94.6	1,866	100.6	5,106	102.9	26.7	116.0	37.0	94.9	89,144	99.0	23,123	100.1
7	487	94.0	183	110.4	748	107.8	2.06	111.2	1,621	98.5	4,572	104.7	25.4	120.5	37.6	106.1	91,665	96.2	24,055	98.8
8	599	101.5	208	106.9	780	110.0	2.13	110.3	1,728	109.0	4,247	98.6	24.5	121.8	35.2	115.8	93,862	100.9	25,829	100.3
9	488	98.2	182	104.3	1,029	98.5	3.15	97.6	1,803	103.6	5,072	104.1	26.5	121.4	37.4	111.2	89,390	99.1	23,321	100.7
10	510	99.6	195	109.3	1,213	98.3	3.63	100.9	1,751	96.5	5,644	104.6	27.1	112.7	36.5	97.2	92,835	99.4	23,730	99.7
11	510	95.3	187	105.6	908	88.2	2.59	82.4	1,549	97.7	5,272	106.0	25.2	99.4	36.5	94.8	91,852	100.6	23,458	98.1
12	851	100.1	258	113.2	850	90.4	2.31	87.0	1,735	93.4	5,147	101.1	26.1	103.2	37.7	99.0	108,996	100.9	30,539	98.1
22.1	511	96.5	180	107.7	587	100.6	1.59	99.0	1,543	101.0	4,206	99.5	23.6	113.4	33.3	104.0	94,472	101.1	22,606	101.4
2	440	97.8	173	108.4	641	97.1	1.81	100.8	1,564	103.1	4,426	98.5	24.3	95.6	35.3	92.2	84,519	98.8	21,076	100.1
3	491	131.4	189	105.3	728	94.4	2.08	101.9	1,746	104.7	4,916	103.7	28.5	108.0	42.4	109.0	103,557	103.7	23,486	99.4
22.4	473	97.5	182	101.9	731	93.3	2.07	97.3	1,860	104.2	4,452	94.3	24.6	91.1	32.4	85.3	97,086	98.6	22,445	98.9
5	510	89.8	188	96.0	739	95.9	2.05	102.4	1,942	102.1	4,888	94.5	26.2	90.6	36.2	87.4	90,846	98.9	24,254	98.0
6	437	88.7	169	96.6	739	102.3	2.08	106.8	1,886	101.1	4,965	97.2	23.0	86.1	35.0	94.5	89,480	100.4	22,885	99.0
7	487	100.0	178	97.6	706	94.5	1.99	96.4	1,674	103.3	4,200	91.9	21.0	82.8	29.4	78.3	92,322	100.7	24,151	100.4
8	520	86.7	192	92.1	684	87.7	2.02	94.7	1,712	99.1	4,187	98.6	21.0	85.8	30.4	86.5	94,939	101.1	25,467	98.6
9	467	95.6	179	98.4	947	92.1	2.89	91.9	1,792	99.4	4,540	89.5	21.7	82.0	32.4	86.5	89,116	99.7	22,830	97.9
10	496	97.3	173	89.2	1,070	88.2	3.34	92.0	1,931	110.3	4,906	86.9	23.3	86.0	35.0	95.9	93,020	100.2	23,784	100.2
11	489	95.8	185	99.3	871	95.9	2.56	98.8	1,739	112.3	4,574	86.8	22.0	87.5	31.4	86.1	91,978	100.1	23,073	98.4
12	820	96.3	256	98.9	819	96.3	2.44	105.6	1,868	107.7	5,112	99.3	23.7	90.7	34.4	91.2	106,171	97.4	30,549	100.0
23.1	503	98.5	179	99.4	515	87.6	1.56	97.7	1,558	101.0	4,259	101.3	21.4	90.7	30.2	90.6	93,893	99.4	22,118	97.8
2	448	101.8	167	96.4	579	90.3	1.65	91.3	1,613	103.1	4,223	95.4	23.0	94.7	33.7	95.4	84,399	99.9	21,083	100.0
3	469	95.5	185	97.9	823	113.2	2.42	116.4	1,765	101.1	4,804	97.7	26.9	94.3	39.8	93.9	94,881	91.6	22,894	97.5
23.4	495	104.6	183	100.5	653	89.3	1.93	93.0	1,775	95.5	4,750	106.7	25.2	102.6	34.0	105.0	94,679	97.5	22,126	98.6
5	509	99.8	188	100.0	629	85.1	1.86	91.0	1,806	93.0	5,131	105.0	24.6	93.8	34.6	95.5	89,372	98.4	23,486	96.8
6	478	109.6	184	109.4	633	85.6	1.89	90.8	1,842	97.7	4,858	97.8	22.7	98.6	30.7	88.0	86,022	96.1	22,408	97.9
7	445	91.4	163	91.6	667	94.4	1.92	96.6	1,740	104.0	4,333	103.2	22.1	105.0	32.8	111.3	90,924	98.5	24,367	100.9
8	482	92.8	172	89.8	691	101.0	1.98	98.2	1,701	99.4	4,344	103.7	22.4	106.5	32.8	107.8	91,561	96.4	25,078	98.5
9	435	93.3	177	98.5	894	94.4	2.77	95.7	1,794	100.1	4,570	100.7	23.1	106.3	35.7	110.4	87,666	98.4	22,564	98.8
10	471	95.0	177	101.8	1,235	115.5	3.79	113.6	1,867	96.7	4,995	101.8	24.7	105.9	33.8	96.6	92,729	99.7	23,718	99.7
11	466	95.4	181	97.8	735	84.4	2.13	83.1	1,600	92.0	5,049	110.4	23.8	108.1	35.2	112.1	89,064	96.8	22,975	99.6

資料:総務省「家計調査月報」

中酪情報　No.537
2012年1月31日発行
毎号奇数月末発行

発　　行：社団法人　中央酪農会議
編集・発行人：内橋政敏
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F
TEL：03-3219-2611㈹　　FAX：03-3219-2622

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9F
社団法人　中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL：03-3219-2611㈹　　FAX：03-3219-2622
http://www.dairy.co.jp/
（中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます）

編　集　後　記

明けましておめでとうございます。
本年の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。
昨年は、東日本大震災をはじめ、集中豪雨や台風など多くの災害に見舞われました。災害で亡くなられた方々に対し、心よりご冥福をお祈りするとともに、被災によりこれまでの生活を失われた方々、さらには、東京電力福島第一原子力発電所の事故のために避難生活を余儀なくされている方々に、改めてお見舞い申し上げます。

本年は、まずもって、災害のない、安心して暮らせる平穏な年になるように祈りたいと思います。

MILK JAPAN™

発行 社団法人中央酪農会議

〒101-0047　東京都千代田区内神田1-1-12　コープビル9F
TEL : 03-3219-2611（代）　FAX : 03-3219-2622
http://www.dairy.co.jp/